

やらんば！平戸

ひと(HITO) 響きあう 宝島 平戸

広報 ひらど

Hirado City Public Relations

Contents

特集「このまちが好きだから。」	▶02	受賞おめでとうございます	▶34
まちのできごと	▶20	平戸市の水産業を考える④最終回	▶36
まちのひとびと	▶24	未体験の銀世界に浪漫飛行	▶38
市民の声&読者プレゼントコーナー	▶26	平戸・松浦地区観光人材育成プロジェクト	▶39
みんなの図書館	▶28	平戸温泉城下雛まつり	▶40
HIRADO X-change. おしえて年金	▶29	中部中学校職場体験レポート	▶41
平戸遺産～焼罪～	▶30	平戸市からのお知らせ	▶42
生涯学習コーナー「学びの達人」	▶31	情報ひろば	▶46
平戸から世界遺産を	▶32	人口の動き・編集室からひとこと	▶48

「泣いたが勝ちよ、はつけよいー！」
～節分の伝統行事「子泣き相撲」～

2009
March
3
平成21年

No.042

Hirado City Public Relations



Hirado city Public Relations
2009.3 No.42
広報ひらど 平成21年3月号



大豆油インキを使用しています。

【編集・発行】平戸市総務課 〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
TEL/0950-22-4111(代) FAX/0950-22-2419
URL http://www.city.hirado.nagasaki.jp E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
印刷/有明社ケンホクプリント

平戸さくらまつり

3月19日(木)～4月11日(土)
亀岡公園内

約900本の桜の木がある桜の名所「亀岡公園」で、「平戸さくらまつり」を開催します。
夜は平戸城をバックにぼんぼりのほのかな灯りの中で、ご家族やご友人などと一緒に夜桜見物はいかがですか？
桜の満開時期は、4月上旬ごろです。

特別企画

夜桜・平戸神楽へご招待

4月3日(金) 亀岡公園内

平戸さくらまつりでは、特別企画として「平戸神楽」の代表的な「神相撲」、「二剣」、「猿田彦」の3番の舞いが、午後8時から披露されます。

松浦家の手厚い保護を受け、360年の伝統を誇る「平戸神楽」。神楽の舞は全部で24番までありますが、奉奏曲目の数などで、小神楽(8番)・中神楽(12番)・大神楽(18番)・大大神楽(24番)の4種類に分けられます。

24番まで舞われる大大神楽は、毎年10月26日の亀岡神社の例大祭でのみ奉納されます。

今回は代表的な3番ですが、幻想的な夜桜の中での荘厳な舞いを、ぜひご家族やご友人などと一緒にご覧ください。

当日は、午後7時から表千家による茶会や振る舞い酒、カラオケ大会も予定しています。

お問い合わせ 平戸観光協会(☎23-8600)

◎今月の表紙

2月3日の節分の日、最教寺奥の院で開催された「子泣き相撲」での一コマ。子どもの健やかな成長を願う節分の伝統行事で、226人の豆力士が参加しました。行司の「はつけよい」の掛け声に、泣き出す子や笑い出す子、お構いなしに寝ている子などの愛らしいぐさに、会場は終始笑い声に包まれていました。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。



◎人口の動き

■平戸市人口/37,421人(ー61)
男性/17,553人(ー24)
女性/19,868人(ー37)
■世帯数 14,450戸(ー3)
※()は、前月との比較
平成21年2月1日現在



▲真剣を口にくわえ、小刀を両手に持って舞う「二剣」

「平戸神楽」

現在の平戸神楽の基礎は、松浦家29代鎮信(天祥)の時代に、神職で国学者であった橘三喜が、正保年間(1644～1648)に全国各地の一の宮を巡拝して調査研究を重ね、24番におよぶ平戸神楽を完成させたといわれています。

平戸神楽を代表する「二剣」は、真剣3本を使うことから別名「三本舞」とも呼ばれ、舞手の技術力・体力・集中力が求められる最も難しい演目です。

Editorial

編集室からひとこと

広報ひらどの担当になってもうすぐ丸5年が経とうとしています。今回の特集「このまちが好きだから。」は、私が広報での5年間の取材を通して、自分自身が今一番市民のみなさんに訴えたい思いを込めて企画しました。ふるさととは、知っているようで知らないもの。知ってください、気付いてください、ふるさと平戸の魅力。きっとふるさとのことが今よりも好きになるはずです。

先日、保育園で子どもの音楽発表会がありました。2歳の息子が音楽に合わせて、踊りながら歌っている姿を見て、保育士のみなさんが優しく丁寧に教えてくださったのだらうと感謝しました。今回、各種表彰を受賞された先生のみなさんも、児童や生徒のみなさんのことを真に思い、厳しい中にもやさしく指導されている温かさが、取材を通じてひしひしと伝わってきました。

▶P04



01

海と大地に抱かれて

▶P06



02

市民が語る平戸の魅力

▶P07



03

暮らしのステージを平戸に選んで

▶P10



04

受け継がれる伝統と気質

▶P12



05

地域で育てる平戸の宝

▶P14



06

市民が主役のまちづくり

▶P16



07

未来への羅針盤

当たり前のようにこの地で生まれ
当たり前のようにこの地で暮らす。
何気なく暮らしていると
見落としがちなふるさとの大切さ。

いつからだろう、
感動を忘れてしまったのは。
小さいころは、このまちが好きで
いろんなことに感動していたのに。
いつからだろう、
幼い頃夢見たふるさとの姿を忘れたのは。

いったいどれくらいの人が、
このふるさとの未来を考えているのでしょうか。
いったいどれくらいの人が、
このふるさとを守りたいと考えているのでしょうか。

この地に暮らすわたしたちは
このふるさとをどんな風に見ているのでしょうか。
この地を訪れる多くの人々にとって、
この平戸はどんな風に見えるのでしょうか。

世界にたった一つだけのふるさと「平戸」
平戸の豊かな自然と緑あふれる大地、そして青い海。
その自然がもたらす豊かな恵み。
先人たちが築いた伝統ある歴史文化。

あなたは胸をはって
ふるさとのことを語れますか。
あなたは胸をはって
ふるさとで暮らしていますか。
あなたは胸をはって
このまちが好きだと言えますか。

君の未来に
残したい「ふるさと」がある……

「このまちが好きだから。」

people of Hirado



Kiyoko Ayaka

綾香清子さん
(漁師食堂「母々の手」代表)

「私たちは、平戸の豊かな自然の
恩恵を受けて生かされています」

この食堂を開いてから、市内はもとより、
県外からもたくさんのお客様が足を運ん
でくれるようになりました。平戸の魚は
おいしいと思っていましたが、観光客のみなさん
の表情や言葉などから、平戸の魚に自信を持つこ
とができました。私たちはこの海の恩恵を受けて
生かされているといっても過言ではありません。
平戸の豊かな自然(海)がお客様を呼んできてい
るのです。平戸は、魚はもちろん、アスパラガスや
バレイショ、イチゴなどの農産物も豊富です。何
を食べても安心・安全ですからもっと自信を持っ
べきだと思います。第1次産業なくして第2次・
第3次産業はあり得ません。平戸の豊かな自然に
感謝し、これからも自然を大切に守っていきたく
と思います。



PROFILE



綾香清子 (53歳)
／主師町

平成20年4月に地域の女性グループで漁師食堂
「母々の手」をオープン。同地区で獲れた新鮮な
魚で観光客のみなさんを温かくもてなし、平戸
の魚の良さをアピールしている。

people of Hirado



Satoshi Nishi

西 聡さん
(農家・市青年農業者連絡協議会会員)

「たくさんの仲間にも恵まれたから、
今の自分があると思います」

農家の子に育ち、幼いころから両親の近く
で農業を身近に感じていたこともあり、
当たり前のように農家になりました。北
松農業高校、県立農業大学校を経て、20歳からミ
ニトマトの栽培を中心に約30品目の野菜を手がけ
ています。現在は、仕事にも慣れてきて、「食の安心・
安全、顔の見える農業」に心がけ、試行錯誤を重ね
ながら味の追求に没頭しています。農業は強制さ
れてできるような仕事でないで、楽しむことが
必要だと思います。青年農業者連絡協議会などの
活動を通して、たくさんの仲間と出会い、たくさ
んの刺激を受けました。夢を語ることができなかつ
た自分も、この出会いを通じて夢を持つこともで
きました。これからも仲間と共に切磋琢磨しなが
らこの平戸の地で夢を追い求めていきたいです。



PROFILE



西 聡さん (26歳)
／大野町

農家である両親とともにミニトマトの栽培など
を中心に約30品目の農作物を手がける。市青年
農業者連絡協議会などにも属し、平戸の未来を
担う若手農業者として活躍中

Special Edition 「このまちが好きだから。」

豊かな自然が育む平戸の息吹

海と大地に抱かれて



豊かな自然に恵まれ、
西海国立公園に指定されるなど
美しい自然環境に恵まれた「平戸」。
先人たちから受け継いだ
この恵まれたすばらしい大自然は平戸の誇るべき財産です。

この海と島、そして大地の恵みである
新鮮で豊富な農林水産物は、
市民のどれもが地域の自慢として認識している「宝」です。

この自然を基とした農林水産業は、
これまで平戸市の基幹産業として、
多様な雇用の場を創出し、生活の向上に大きく寄与してきました。
そして、これからも私たちのまちに
活力を生み出す源泉として
次世代に保全・継承していかなければなりません。

自然と共生したまち「平戸」。
私たちは、これからもこの大自然とともに歩んでいきます。

Special Edition 「このまちが好きだから。」

平戸の魅力に惹かれて・・・

暮らしのステージを平戸に選んで

第二のふるさとを求め、
地方で暮らすことを希望している人が全国的に増えています。

平戸市でも、田舎暮らしのススメとして、
田舎暮らし体験ツアーや都市部でのキャンペーンを
平成18年度から本格的に展開しており、
「平戸」を新たなふるさととして、
多くの人が移り住んでいます。

この平戸に移り住んできた「動機」。

それは、平戸の「魅力」に置き換えることができるのではないのでしょうか。
もしかしたら、それは私たちが普段当たり前に感じていることかもしれません。

長年同じ場所に暮らしていると、
忘れてしまいがちなふるさとの「魅力」。

I ターン者の声は、
私たちに大切なことを気付かせてくれる声かもしれません。

Special Edition - 「このまちが好きだから」

誰よりもこのふるさとを大切に思うから・・・

市民が語る平戸の魅力

ふるさとの魅力は、誰よりも市民のみなさんが知っているはず。

その魅力は、人によって捉え方もさまざまだと思います。

ここでは、ほんの少し市民のみなさんに平戸の魅力を語っていただきます。

「平戸の自然の素晴らしさを子どもたちに伝えたい」

Kazukatsu Ono

小野 数勝さん (65歳)
／生月町山田免

野外体験のリーダーとして、
「ふるさと探検隊」など多
方面で活躍。自然の素晴ら
しさを伝えている。

趣味のトライアスロンや山登りを通じて、平戸の自然の素晴らしさに感動しています。近年、子どもたちが自然と触れ合う機会がなくなっていますので、野外体験などにスタッフとして参加して、自然の素晴らしさをたくさん子どもたちに伝えています。ふるさとの自然に触れ親しむことで、ふるさとへの愛着が湧き、大きくなってもふるさとのことを大切に思ってくれれば嬉しいですね。

「平戸の魅力を誇りを持って伝えたい」

私が真剣に平戸のことを考えるようになったのは、「キリシタン紀行」の教会めぐりでのある夫婦との出会いでした。その夫婦は、病に侵された残り少ない命を大切にしたいと教会で真剣に祈っていました。平戸に癒しを求めてきていたのです。その出会いが私に平戸の魅力を気付かせてくれました。平戸の大自然や歴史、心の温かさなど、平戸の魅力に誇りをもって伝えていきたいです。

Kumiko Takada

高田久美子さん (58歳)
／岩の上町

平戸観光ウェルカムガイド
として市内各地を巡り、観
光客のみなさんに市内の魅
力を伝えている。

「平戸の温泉は、体にとっても良いんです」

Noriyuki Hamada

濱田 徳之さん (55歳)
／大久保町

自ら平戸温泉に惚れてこみ、
平戸温泉の販売業を始める。
個人宅などにも販売し平戸
温泉の魅力を発信している。

私は、平戸温泉の販売業務をしています。平戸の温泉は、美容や健康に良く、神経痛や肩こりにも効用があります。私自身、毎日風呂で利用していますが、利用し始めてからはとても体の調子が良いんです。最近では、日本の医療分野でも温泉が利用されるようになったと聞いています。また、市内でも福祉関係の施設などで利用されています。これからも平戸の温泉の良さをPRしていきたいですね。

「ふるさとは、自然が多くてとても心が落ち着く場所」

高校卒業後、就職のため兵庫県や福岡県にいましたが、昨年8月にふるさとの大島村に戻ってきて、やっぱり地元はいいなと改めて実感しました。ふるさとの農水産物おいしいですし、自然が多くて都会と違ってすごく落ち着きます。時間もゆっくり過ぎている感じがして、毎日が穏やかに過ごせていますね。そして、何よりふるさとのみなさんは人が温かいと感じました。

Shoichiro Hamabe

浜辺昇一郎さん (25歳)
／大島村的山

高校卒業後、就職のため大
島村を離れたが、昨年8月
から株式会社の山大島村風
力発電所に勤務。

people of Hirado 6

Hill Graham, Hill Mizuho

ヒル・GRAM・瑞穂夫妻
(自営業：貿易関係)

「平戸の自然や人々の素晴らしさを
もっと多くの人に感じて欲しい」

静か

かで平和な所を探していた私たちにとって、この平戸のまちは何もいうことがないくらいパーフェクトでした。インターネットで物件を見つけて、初めて家を見学に来てから、すぐに平戸に住むことを決めたくらいです。平戸に住み始めて毎日毎日が感動の連続です。景色の素晴らしさもそうですが、地域のみなさんの人柄の良さが何より大好きになりました。平戸のまちはとても美しく、人も素晴らしいと思います。こんな素晴らしい自然と人々は世界中でも珍しいです。平戸に移住してこれたことを、とても誇りに思います。若い人たちもこのまちの素晴らしさに気付いて、たくさんの人に住んでほしいと思いますね。平戸はたくさんの可能性を秘めたまち。少しでも平戸に貢献したいと思っています。



PROFILE



ヒル・GRAM (34歳)・瑞穂 (30歳)
／宝亀町(カナダ出身・福岡県出身)

昨年8月に平戸に移住。インターネットを通じて貿易関係の仕事を手がけている。瑞穂さんは、昨年、日蘭交流事業「12xおらんだ」の通訳としても参加している。

people of Hirado 4

Keiko Akagi

赤木 径子さん
(主婦)

「平戸の水産物おいしいんだと
もっと自信を持ってほしい」

度島に嫁いできて4年になります。もともと、平戸は観光で何度も訪れていた土地でしたので知ってはいましたが、住んでみてこんなにも伝統や風習の違いがあるのかと驚きました。何より一番驚いたのが人と人との垣根が低いところですね。何をするにしても協力していかなくちゃならないというような地域の温かさを感じます。最近私は、夫が漁師をしていることもあってイカの一晩干しなど水産物の加工を始めました。平戸は、本当に魚介類がおいしいですけど意外と地元で消費されていないように感じます。平戸にはたくさんの資源があるので、ありすぎてその魅力に気付いていないのかもしれませんが。平戸の魚はどこにも負けないくらいおいしいのでもっと平戸の水産物に自信を持ってほしいですね。



PROFILE



赤木 径子 (35歳)
／度島町(佐賀県出身)

縁あって度島で漁師として頑張っている赤木政幸さんと結婚。子育てするかたわら、夫の漁船と一緒に漁に出ることも。現在、地域の資源を活かした水産加工品の開発に挑戦している。

people of Hirado 7

Masuo Murakami

邑上 益朗さん
(自然観光インストラクター)

「平戸市には、貴重で珍しい
植物など資源の宝庫です」

平戸は、変化にとんだ環境で、全島に渡って自然的な要素で貴重で珍しい植物や地質、貝類など豊富な資源に恵まれています。今後は、それらを守っていかなくてはなりません。私は、植物の調査・研究を専門にしており、自然観光インストラクターとして、市民や観光客のみなさんにガイドをしています。毎回大きな反響があります。平戸には、自然のほかにもさまざまな資源に恵まれていると思いますが、それに気付いていない人も少なくありません。今後は、自分の特性を活かして、自然と人をつなぐ仕事をしたいと思っています。現在企画しているのは、平戸でのエコツアーの開催。自然を守るという意味で、市民のみなさんにもっともっと平戸の豊かな自然を知ってもらいたいと思っています。



PROFILE



邑上 益朗 (59歳)
／大野町(対馬市出身)

自然観光インストラクター、青少年野外活動指導者、日本自然保護協会自然観察指導員、環境省絶滅危惧植物調査員、県文化財保護指導委員。平戸に移住して5年目を迎えている。

people of Hirado 5

Masahito Sesaki

瀬崎 正人さん
(クレヨン画家)

「生月島の自然は奥深く、
全国的にも貴重な場所です」

画家として活動を始めて約30年。これまで全国を放浪しながらたどり着いたのが生月島です。生月島に定住して9年目になりますが、今では私の故郷よりも落ち着く場所になりました。生月島の自然は身近でリアルです。自然の存在の中に人が住まわせてもらっている風景というか、自然がとても奥深く、島自体に限りない可能性を持っていると感じます。私は、クレヨン画家として個展はもちろん、子どもスケッチ大会などを開いています。間接的ではありますが、生月島の宣伝隊として少しでも貢献したいという思いを持っています。それは、地元出身ではない私を温かく受け入れてくれた住民のみなさんへの恩返しでもあります。今後もクレヨン画を通じて生月島の自然をPRしていきたいですね。



PROFILE



瀬崎 正人 (50歳)
／生月町御崎(佐世保市出身)

クレヨン画家として、各地を放浪後、結婚を機に生月町を生涯のキャンパスとして移住。個展のほか、生月町で子ども向けのスケッチ大会なども開催し精力的に活動している。

people of Hirado 8

Ichiro Toyomasu

豊増一郎さん
(生月勇魚捕唄保存会会長代行)

「生月勇魚捕唄は、私たちの
暮らしの中に息付いています」

生 月勇魚捕唄は、昔から島の暮らしの中に息付いてきました。現在も、成人式をはじめ、厄入りや還暦祝いなどさまざまな祝い事には欠かせないものです。この伝統芸能があるからこそ、地域のつながりが生まれてきていると思います。このまちに生まれ、育ち、地域みなさんの協力を得ながら、守り続けていく。地域に密着して守り続ける中で、地域みなさんとの「ふれあい」が生まれているのが伝統芸能の魅力ではないでしょうか。この生月勇魚捕唄を通じて、市内はもちろん、山口県長門市など捕鯨の歴史を通じたさまざまな交流も生まれています。伝統芸能は、単なる伝統の継承だけでなく、そこに暮らす人々の心と心をつなぐ大切なものだと思いますので、これからも大切に守っていききたいです。



PROFILE



豊増一郎 (69歳)
／生月町壱部

生月勇魚捕唄保存会会長代行として、保存・継承に尽力。生月勇魚捕唄保存会ジュニアの指導にも熱心に取り組み、捕鯨の歴史を通じたさまざまな交流にも積極的に参加している。

people of Hirado 9

Yukio Soda

早田幸男さん
(荻田浮立保存会副会長)

「荻田浮立が私たちとふるさとを
結ぶ絆になっています」

荻 田浮立は、3年に1度、三柱神社で奉納しています。荻田浮立の伝承は、地域のつながりがなくなる中でとても貴重な時間だと感じています。伝統芸能というのは、小さいころはその良さに気付かないものです。私も大人になって外に出て初めて、この伝統芸能の良さに気付きました。どの地域でもそうですが、少子高齢化が進行する中で、伝統芸能の継承が難しくなっています。伝統芸能は形のないものですから、これからも荻田地区をはじめ、ほかの地域の協力も得ながら後世に伝えていかなければなりません。この荻田浮立を守り続け、地域の絆をもっと深めていけたらと思います。この荻田浮立が、私たちとふるさとを結ぶ絆になっているということをこれからも大切にしていきたいですね。



PROFILE



早田幸男 (61歳)
／田平町荻田免

少子高齢化により存続が難しくなっている中、地域をあげて保存に取り組むべきと、荻田浮立保存会副会長として、そして伝承者の一人として、荻田浮立の保存・継承に努めている。

Special Edition 「このまちが好きだから。」

先人たちの思いを今も受け継ぐ・・・

受け継がれる伝統と気質



私たちのふるさと平戸には、
人々の生活の中で大切に守り伝えられてきた多くの伝統芸能があります。
それは、わたしたちの先祖の生活や様子を
今に伝える大切な手掛かり。
これらは、常に変化する社会情勢や生活の中で、
先人たちが脈々と受け継いできた「証」でもあります。

ふと耳をすませば、笛や鉦、太鼓の音が聞こえてくる・・・
そんな気さえするほど、私たちの暮らしの中に伝統芸能は息付いています。
少子高齢化が急速に進む中、変容を余儀なくされ、
伝承が困難になったり、休止してしまった伝統芸能もあります。

しかしそのような中でも、
その先人たちの思いを受け継ぎ、地域の力を結集して
今に残された伝統芸能の数々。
その背景には、単なる伝統や文化の継承だけでなく、
私たちの暮らしの中に活気やさまざまな交流を生み出していました。

写真：大島のジャンガラ

松山涼子さん
(育児サークル「のびのびキッズ」)

「子育てを通して、
ふるさとの未来を考えていきたい」

子育ては、平戸の将来を担う人を育てているんだという広い目を持って取り組んでいます。平戸は、外から見たときに、人間としてとても落ち着ける場所です。また、都会と違って何もかもが身近に体験できますので、子育てにも最適な土地柄だといえます。今のお母さんたちはさまざまなことを教えられなくなっています。お母さんたちだけでは不足する部分も、地域みなさんに教えていただいて学ぶことがたくさんあります。今後は子育てグループや地域がさらに連携していかなければならないと思っています。そうすることで、私たち親自身もたくさんのことを学べますし、子どもたちが大きくなってふるさとを離れたとしても、いつか平戸に戻ってきてくれると思っています。



PROFILE



松山涼子(37歳)
／紐差町

育児サークル「のびのびキッズ」は、毎週水曜日(10:00～12:00)に市ふれあいセンターで親子連れが集まり、おやつを作ったり、おもちゃ遊びなどをしているのんびり楽しく過ごしています。

濱崎幸恵さん
(育児サークル「なかよしクラブ」)

「心から信頼できる
たくさんの仲間と出会いました」

子育てをお母さん一人でやろうとしたら、とても大変です。育児とは、何かとストレスがたまるものなので、育児ノイローゼなどにかかる人も少なくありません。その結果、幼児の虐待などに発展している悲惨な事件も全国的に多くなってきています。一人では辛くて大変でも、みんなで話したりすることで楽になることもあります。また、子育ては自分以外の子どもを見ることも大事です。私は育児サークルを通じて、たくさんのお母さんと出会い、平戸で子育てをして本当に良かったと思います。表面上の付き合いではなく、心から信頼できる仲間と巡り会えたことが何よりの喜びです。これからも、みなさんとのコミュニケーションを大切にしながら、子育てを頑張っていきたいと思っています。



PROFILE



濱崎幸恵(33歳)
／大久保町

育児サークル「なかよしクラブ」は、毎週月曜日(10:30～14:30)に、平戸市社会福祉協議会で親子連れが集まり楽しく過ごしています。読み聞かせや3B親子体操なども行っています。

Special Edition 「このまちが好きだから。」

人と人がつなぐ思いやりのハーモニー

地域で育てる平戸の宝



幼い頃を振り返ると、
数え切れないほどの愛情をもらって育った気がします。

両親はもちろんのこと、
近所のお兄ちゃんやお姉ちゃん。
近所のおじちゃん、おばちゃん。
誰もが声をかけてくれました。

誰もが叱ってくれました。
全国的に地域コミュニティの希薄化が
進んでいるといわれていますが、
平戸には今も人情味溢れる地域の絆があります。

平戸には、温かさがあります。
それは、人と人がつなぐ地域の温かさ。
平戸だからできる子育て。

愛情いっぱいの子育て。
平戸には、たくさんの子どもの笑顔が
溢れています。

大石靖子さん
(ピンクリボンひらど・A I . A I . A I 会長)

「活動を通じて、人と人がつながる
素晴らしさを感じています」

ピンクリボン運動は、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝え、乳がんの撲滅を目指してアメリカで始まった運動です。私たちは活動を始めて3年目を迎えますが、この活動を通じていろんな出会いがあり、人と人とが繋がっていく素晴らしさを感じています。思いが一つになることで、すごいエネルギーになりますし、私たちの活動に手応えを感じました。また、思いやりや優しさなど人として成長させてもらっているとも感じます。私たちの団体は、病院関係者ではなく、他所では珍しい市民が主体となったグループです。活動を持續していくことはエネルギーのいることですが、この取り組みが新たなグループとのつながりを生み、さまざまな地域の課題を解消できるのではと思います。



PROFILE



大石靖子 (42歳)
／上中津良町

ピンクリボン運動に出会ってから、平戸市においてもこの運動を広めたいと精力的に活動している。今年度からピンクリボンひらど・A I . A I . A I の会長を務める。

江口七義さん
(獅子町活性化推進協議会会長)

「子どもたちに誇れるふるさとを。
その思いがまちを動かしました」

獅子地区では、少子・高齢化が進んでおり、耕作放棄地が以前から問題視されていました。この耕作放棄地を「何とかしたい」と獅子町活性化推進協議会を中心に本格的に活動を始めました。最初は反発の声もありましたが、何とか地域のみなさんを口説いて、地域のみなさんが一丸となって取り組んだ結果、見違えるように棚田や景観がよみがえってきました。棚田の一枚一枚は個人の所有でも、一枚一枚が作り出す全体の景観は、町民全体の財産だという意識の変化も出てきました。「子どもたちに誇れるふるさとにしたい」という思いが、少しずつまちの中に広まりつつあります。今後は、この棚田を活かしたまちづくりの構想も町民のみなさんから意見が出ています。この動きが市全体に広まればいいですね。



PROFILE



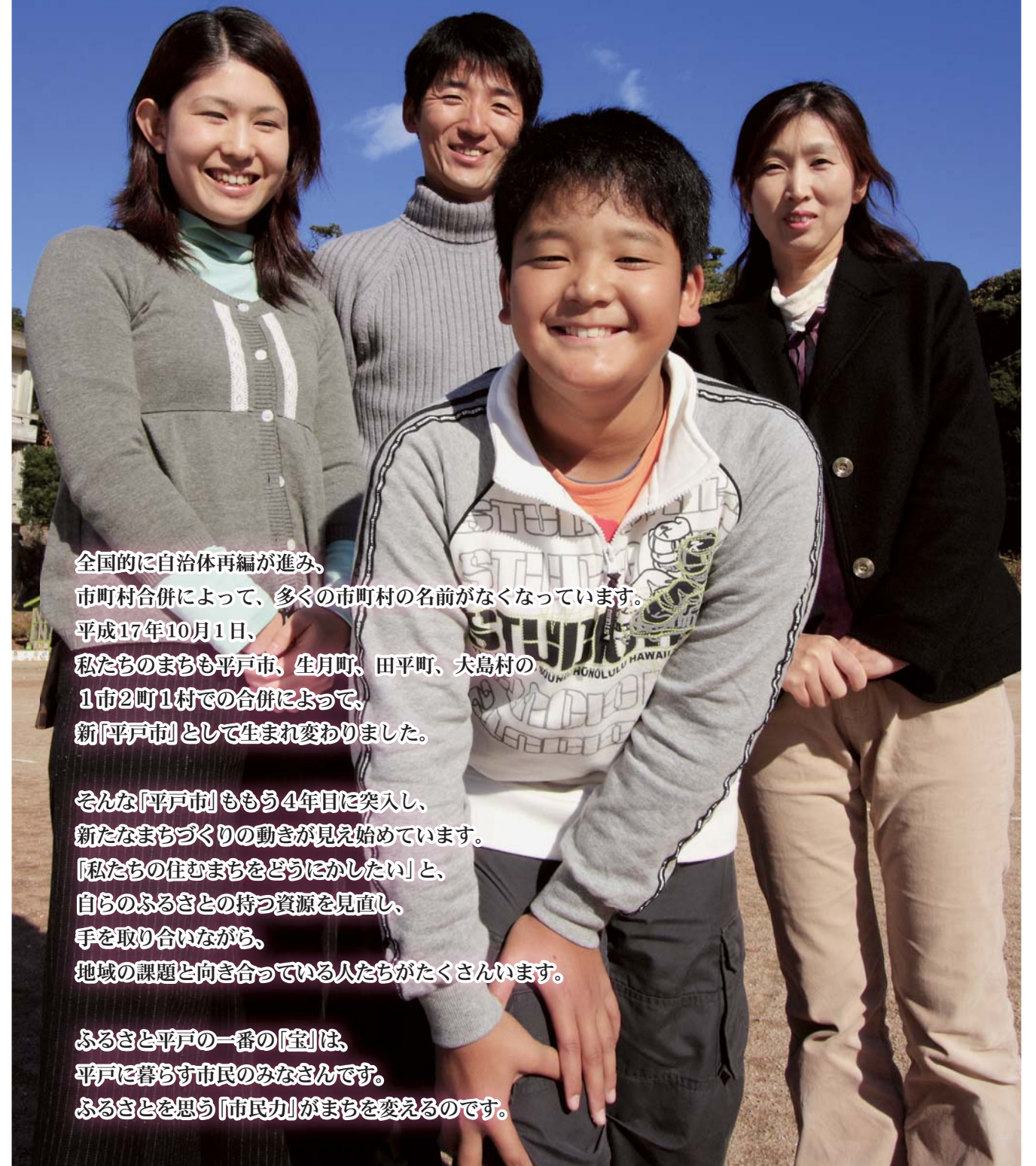
江口七義 (59歳)
／獅子町

獅子町活性化推進協議会の会長として、耕作放棄地の解消に尽力している。建設業での経験を活かし重機を操作するなど、町民のみなさんとともに景観の保存に取り組んでいる。

Special Edition 「このまちが好きだから。」

ふるさとを思い、高まるまちづくりの気運

市民が主役のまちづくり



全国的に自治体再編が進み、市町村合併によって、多くの市町村の名前がなくなっています。平成17年10月1日、私たちのまちも平戸市、生月町、田平町、大島村の1市2町1村での合併によって、新「平戸市」として生まれ変わりました。

そんな「平戸市」ももう4年目に突入し、新たなまちづくりの動きが見え始めています。「私たちの住むまちをどうにかしたい」と、自らのふるさとの持つ資源を見直し、手を取り合いながら、地域の課題と向き合っている人たちがたくさんいます。

ふるさと平戸の一番の「宝」は、平戸に暮らす市民のみなさんです。ふるさとを思う「市民力」がまちを変えるのです。

ばなりません。平戸にある数々の地域資源こそ、平戸の「宝」であることを。

まちづくりの基本は「人」市民力がまちを変える

これからのまちづくりは、地域社会を構成する市民のみなさんと企業、団体など行政がともに創り上げていくという「協働」の精神が不可欠です。市民のみなさん一人ひとりがまちづくりの主役であり、地域を支えるまちづくりの担い手なのです。

平戸市を取り巻く環境は、景気の低迷、地域格差の拡大、少子・高齢化の進行、ライフスタイルの多様化など大きく変動しており、人口の減少、厳しい財政状況、地域コミュニティ意識の希薄化などさまざまな社会問題に直面しています。このような状況だからこそ、市民のみなさん一人ひとりのまちづくりへの積極的な参加が必要です。

現在の平戸市は、一夜にしてできたものではありません。これまで先人たちが大切に築き上げてきたふるさとです。まちづくりの基本は、「人」。まちづくりとは、「市民力」そのものです。市民のみなさん

ふるさとを見つめ「資源」を活かす

私たちの暮らす平戸には、先人から引き継いできた個性ある地域の民俗・伝統文化、芸能、祭り、数多くの歴史資産や豊かな自然、農林水産品などの豊富な地域資源に溢れています。これらは、平戸の「宝」であり、ふるさとの魅力です。

しかし、これらは市民のみなさんが認識して初めて価値あるものになるのです。私たちは、これらの地域資源の中で、当たり前のように暮らし、当たり前のよう暮らし、そしてその価値には気づきにくいものです。社会情勢の厳しい今だからこそ、これらの地域資源に目を向け、これらの「宝」を磨き、「宝」を活かしていかなければなりません。それは、現代に生きる私たちにしかできないことであり、私たちの役目なのではないでしょうか。

これらの地域資源は、活かさなければ風化してしまします。目を向けなければそこに価値を見出すことはできないでしょう。平戸に住む私たち一人ひとりが、誰よりも平戸の魅力を一番に理解しなければ

Special Edition 「このまちが好きだから。」

ふるさとでの明るい未来を築くために

未来への羅針盤

地域経済がますます厳しくなっている中、どうしても先の見えない不安が広がっています。今回取り上げたみなさんは、この平戸に愛着を抱き、平戸の魅力を活かしながら取り組んでいる人たちでした。これからの厳しい状況にある今こそ、この平戸を次の世代へ誇れるふるさととして残していくために、行政や市民のみなさんが地域を想い、お互いに手を取り合って「協働」によるまちづくりで乗り切るときではないでしょうか。



ちを豊かなものに変えていく原動力となるのです。

動き出した協働によるまちづくり

市の施策の柱として平成20年度から本格的に取り組みを始めている「協働によるまちづくり」。市内各地で、市民団体のまちづくり活動の気運が高まっています。まちづくりに関する地域の課題・問題点の解決に向け、「ふるさとを何とかしたい」という思いが新たな動きを見せています。また、各小・中学校を単位に開催している「平戸市やらんば会議」も2月には3回

目となる会議を開催し、地域の課題や問題の解決に向けてより具体的な意見が交わされるようになりました。2月10日に開催された度島地区の第3回やらんば会議では、白濱市長も出席し、市民のみなさんと膝を交えながら「特産品の開発」をテーマにさまざまな意見を交わしました。

少子高齢化に伴い、さまざまな地域活動の継続が困難になっている中、今後は、行政と市民のみなさんがふるさとの未来に向かって、より連携・協力することで、誰もがこの平戸に住んでいて良かったといえるまちづくりに努めなければなりません。

**社会情勢の厳しい今こそ市民の力を結集するとき。
地域に対する誇りと愛着を持って、夢の種をまきましょう。**

TOP INTERVIEW



白濱 信
平戸市長
Makoto Shirahama

現在、少子高齢化や過疎化の進行、さらには100年に一度といわれる金融危機による経済不況の影響から本市を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした背景の中で、本市では平成19年度から市民との協働を施策の柱に掲げ各種施策に取り組んでいるところです。平成20年度からは市税の1パーセントを活用した助成事業を創設するなど、市民のあらゆる活動に対して支援を行っています。このような中、獅子町が協働の支援事業として耕作放棄地解消事業に取り組んだのはじめ、各種団体のいろいろな協働事業への取り組みが見られるようになりました。

しかし、少子高齢化が急速に進む各地域では、身近に行われていた伝統行事の継承や環境美化活動、青少年の健全育成活動などまちづくり活動が難しくなっています。今一度、市民のみなさん一人ひとりが、各地域に残る宝を見直し、磨き育てるためにも、市民力をより一層結集することが大事だと考えています。未来のまちづくりを担う子どもたちのためにも、一緒に夢の種をまいてください。市は市民の気(やる気・その気・元気)を応援します。

んにとつての「豊かなふるさと」「活気あるふるさと」とは一体何なのでしょう。都会のように、交通の便が発達し、デパートやコンビニ、銀行、何をするにも便利なものに溢れていることが、豊かで活気あるふるさとなのでしょうか。本当の意味で豊かで活気あるふるさととは、そこに暮らす人がふるさとに愛着を持ち、誇りを持って暮らし、一人ひとりがこの地で輝き生きることにだと思えます。そのためには、ふるさと平戸のため、自分ができるまちづくりに取り組むことが必要です。

それは、農業や水産業などの生業で地域を活性化させていくものであったり、ボランティアや生涯学習を通じて地域に貢献したり、平戸産のものを気にかけて使用したり、地域のイベントに参加したりと、人それぞれだと思えます。そういう日常生活の中で、地域を想い、ちよつとした行動を取ることによつて、地域は少しずつ変わっていくのかもしれない。

ふるさと平戸のために自分ができることを考えてみませんか。ふるさとを思う一人ひとりの行動が、新たな輪を生み、大きな力となつてこのま



▲2月10日、度島地区で開催されたやらんば会議。特産品開発に向けて、講師や白濱市長を交えて活発な意見が飛び交いました。

「平戸には何もなかもんね」

この言葉を何度も耳にしたことがあります。
もしかしたら、誰もが一度は口にすることがあるかもしれません。
本当にそうでしょうか。

私たちは、この暮らしが当たり前になっていて、

平戸の魅力に気付いていないのかもしれない。

平戸市には、古くからの歴史文化をはじめ、

豊かな自然に恵まれた土地であることはいうまでもありません。

ただ、その一つひとつを市民のみなさん一人ひとりが、

平戸の大切な「宝」として認識しているのでしょうか。

気付きが築く未来への礎。

見渡してみましよう、平戸を囲む大海原を。

見渡してみましよう、豊かな大地を。

気付いてください。

平戸には人情味豊かな人々のつながりがあることを。

平戸が持つ自然・歴史・文化は、

かけがえのない地域を輝かせる大切な「宝」です。

まちづくりのヒントは、ふるさとを知ることから。

ふるさとを愛する気持ちがまちの原動力となるのです。

まちづくりは、

市民のみなさん一人ひとりが主役です。

ふるさとのためにできること。

それは、スポーツであり文化であり、

子育てであり、伝統であり、十人十色だと思います。

一人ひとりが自分にできるまちづくり。

今の社会情勢に背を向け、うつむくことは簡単です。

夢だけを語るのも簡単です。

誰もが夢見る豊かなふるさと、それはみんなの願いです。

だけどそれは誰かが実現してくれるものではありません。

市民のみなさん一人ひとりが気付き、

ふるさとのために力を結集し、

初めて実現できることではないでしょうか。

誰もがこのふるさと平戸に愛着と誇りを持って

「このまちが好きだから」と言える。

そんなふるさと平戸でありたいと願う・・・

だって、平戸にはこんなにもたくさん笑顔が溢れ、

地域の「宝」に恵まれているのだから・・・

ふるさとの未来は、
私たち一人ひとりの手に。

新・平戸市誕生3周年記念特集

「このまちが好きだから。」・完

地域の交通安全・事故防止に努めます！

1月20日、平戸警察署で、平戸地区地域交通安全活動推進委員に対する委嘱状交付式が行われました。同委員は、道路交通法で唯一認められた地域に根ざした交通安全活動を行うボランティア。泉繁樹署長は、「これからみなさんが地域の中心となって、管内の交通安全・事故防止にご協力いただきたい」とお願いしました。

委嘱された委員のみなさんは次のとおり。
左上から白石幸生(再任)、浦田薫(再任)、大浦工治(再任)、馬場英雄(再任)、松田弘(再任)、松本好男(新規) 敬称略



中部中学校が見事3連覇

1月31日、田平中学校体育館と北松農業高校体育館で、「第15回平戸市教育長杯中学女子バレーボール大会」が開催され、市内の中学校のほか北松地区、松浦地区、佐世保地区から15チームが参加しました。予選を勝ち抜いた決勝戦は、昨年と同カードでの対決となり、一進一退の白熱した試合が繰り広げられ、中部中学校が見事3連覇を果たしました。

大会結果は次のとおり
■優勝 中部中学校(3連覇)
■準優勝 田平中学校



泣いたが勝ちよ！「子泣き相撲」

2月3日の節分の日、最教寺奥の院で、伝統行事の「子泣き相撲」が行われました。これは、約400年前、平戸藩主を悩ませていた亡霊が、赤ちゃんの泣き声で退散したという言い伝えにちなんだ伝統行事。東西に分かれて113番の取り組みが行われ、行司の「はっけよい！」の掛け声とともに、泣きだす赤ちゃんに、観客の大きな笑い声と拍手に包まれました。

今年は、イギリスのBBCテレビも取材に訪れており、和やかな伝統行事を、興味深そうにカメラを向けていました。



春の訪れを告げる野焼きに大歓声！

2月7日、平戸の春の訪れを告げる「川内峠の野焼き」が行われました。川内峠は、九十九島や壱岐など360度見渡せる県内有数の草原で、この野焼きは、草原の景観保護と防火や若草の育成のために毎年行っている恒例行事。地元自治会のみなさんなどが火を入ると、約30ヘクタールの草原は、燃え上がる炎に瞬く間に包まれ、市内外から訪れた見物客のみなさんから大きな歓声が上がりました。会場には、燃え盛る野焼きの様子をとらえようと多くのアマチュアカメラマンも駆けつけていました。



地域の連携で作ろう！安全・安心なまち

2月15日、平戸文化センターで、「平戸市犯罪のない安全・安心まちづくり推進大会」(平戸地区連合防犯協会主催)が行われ、市民のみなさん約500人が参加しました。大会では、「防犯標語」の入選作品27点の表彰、中津良小学校の防犯マップ作成の事例発表、平戸小学校金管バンドのアトラクションなどが行われました。また、県警察本部生活安全部少年課の本田智子さんの講演があり、少年補導現場での事例を紹介しながら、「今後の子育てのキーワードは真心と連携です。地域のみなさんが温かい心で子どもに声をかけて欲しい」と訴えました。

家庭で作るオランダ料理を堪能しました！

1月17日、北部公民館で、「家庭でできるオランダ料理講座」(県国際課主催)が開催され、主婦のみなさんなど25人が参加しました。このイベントは、オランダ通商400周年に合わせ、オランダ料理を市民のみなさんに親しんでもらおうと企画されたもので、洋風料理屋「紺や亭」の谷川克城シェフの指導のもと、オランダ風料理のオムレツ、平戸牛のロールビーフなどのメニューをグループで作りました。試食では、オランダの素材の味を大事にする料理の特徴を活かした料理を堪能しました。



チームの思いをつないだ42.1km！

1月18日、第39回平戸縦断駅伝大会(宮の浦バス停前～平戸文化センター、7区間42.1km)が開かれました。あいにくの雨模様でしたが、市内外から19チームが出場し、健脚を競いました。高校の部では、2着に入賞した地元の猶興館高校が前回大会の記録を13分39秒短縮し、努力賞を受賞しました。

各部門の優勝チームとタイムは次のとおり。
【一般市内】平戸市消防署 A 2時間38分 8秒
【一般フリー】目達原自衛隊 A 2時間24分33秒
【高校】松浦高校 2時間19分43秒



「税」の大切さを知りました！

2月9日、野子小学校で、租税教室が開催され、同校の6年生11人が受講しました。この教室は、社団法人平戸法人会(倉田友路会長)が、平戸税務署との共催で、「税」の大切さや役割などを正しく理解してもらおうと開催しているもの。同会の大村謙吾さんが講師を務め、ビデオやクイズを交えて、税金がなくなったらどんな社会になるのかなどを説明しました。児童のみなさんは、「最初、税金はあるのかなと思っていましたが、税金は大切なものだ」とわかったなどと話していました。



潮風を受けて疾走！「県下一周駅伝」

2月13～15日に開催された「県下一周駅伝」(42区間407.4kmのコース)の2日目の熱戦が、平戸栈橋前でスタートしました。スターターを務めた白濱市長の号砲とともに各チームは一斉に走り出し、平戸瀬戸の潮風を受けながら、13区間149.5kmのコースを疾走。2日目のゴールである雲仙市を目掛けタスキをつなぎました。平戸チームには、ふるさと選手を含めて37人が参加。今年は、全体練習などにも力を入れ昨年の最下位脱出を目指しましたが、惜しくも一歩及びませんでした。



絵本を子育てに活かそう！

2月15日、たびら活性化施設で、「読書への関心を高める講演会」(図書館友の会主催)が開催され、教職員や子育て真っ最中のお母さん、子どもたちなど約130人が参加しました。講師には、アンパンマンなどで知られる株式会社フレーベル館の編集部長木村美幸さんを招き、「『絵本』を子育てに活かすには！」と題して講演。木村さんは、絵本の読み聞かせの必要性や絵本の選び方、読み聞かせの秘訣などを熱弁。「絵本は子どもの感受性を豊かにし、生きる力を育みます」などと話していました。



子どもは幸せになるために生まれたの

2月18日、平戸文化センターで、「熊丸さんの子育て講演会」(市子ども支援読み聞かせ連絡協議会主催)が開催され、市民のみなさん約200人が参加しました。講師には、幼児教育専門家の熊丸みつ子さんを招き、「『うちの子最高！』～今すてきな子どもへ伝えたい～親として大人として」と題して講演。熊丸さんは、「子どもはみんな幸せになるために生まれてきました。笑顔をあげるのが大人の仕事。笑顔をもらうのが子どもの仕事です」と子どもにたくさんの愛情を注いでほしいと話しました。



阿奈田ダムの未来永劫にわたる安泰を祈願

2月17日、現在建設中の阿奈田ダム(大川原町)において定礎式が行われました。定礎式は、ダムの本格的な築造に際し、礎石をそなえダムの未来永劫にわたる安泰を祈願する儀式。

式では、関係者のみなさんにより礎石が搬入され、白濱市長の「定礎宣言」の後、「鎮定の儀」、「斎鏝の儀」、「斎槌の儀」、「埋納の儀」と進められ、コンクリートを打設し無事に埋納されました。また式では、大川原小学校の児童のみなさんによる演奏が披露され式典に華をそえました。

ダムの完成は、今年12月を目指しており、その後、浄水場など関連施設の完成を経て平成23年4月の給水開始を予定しています。今後も、安全な施工体制を引き続き維持し、建設を進めていきます。



磯の香りを感じながら力走

2月8日、「いきつきロード2009大会」が生月町で行われました。大会は、年齢別、距離別、親子で参加するファミリーの部が行われ、市内外から830人の選手が参加し、健脚を競いました。選手のみなさんは、晴天のもと、磯の香りを肌で感じながら、沿道からの温かい声援を背に生月島の海岸線を力走。ファミリーの部では、先を急ぐ子どもに手を引かれながら必死に走る母親の姿なども見られました。大会終了後は、恒例の婦人会によるぜんざいが選手や応援に駆けつけたみなさんに振る舞われました。



旬の味覚を味わう「エビ・カキ祭り」

2月14日、15日の両日、平戸港交流広場で、「平戸海鮮炭火焼 - 冬の陣 - エビ・カキ祭り」が開催され、市内をはじめ福岡や佐世保などから約4,000人が訪れました。

絶好の春日和に恵まれたこともあり、会場に設置された焼き台100台、400席には空きがないほどの大盛況。訪れたみなさんは、カキ、サザエ、ウチワエビの基本セットのほか、アワビやイカの一晩干しなどを炭火で焼いて、家族や友人などと一緒に平戸の旬の味覚を楽しんでいました。





ちば ようすけ
千葉 陽介さん (22歳・古江町)
「早くお客さんから信頼される社員になりたいです」

- 勤務先
(株) なかしま
- ニックネーム
ちばちゃん
- 性格は？
のんびり屋で明るい
- 趣味・特技
ドライブ、カラオケ、ボウリング

千葉さんは、鹿児島島の短大を卒業後、(株) なかしまに就職して半年になります。現在は、コピー用紙や事務用品などを配達することが主な業務。最初は、何種類もの商品があり区別がつかず、配達先で注文を受けた時は、間違えないように聞いたことを必死にメモしたとか。「最近では、ある程度商品もわかるようになったが、もっと勉強して自分からお客さんに商品を勧められるようになりたい」と笑顔で話してくれました。



☆☆☆ Happy Birthday ☆☆☆ ★お誕生日おめでとう！★ 3月生まれ



名前のとおり輝いてネ・
ドスコイ！！

もとやま だいや
本山 大哉くん
(H20.3.2生)
～淳さん・めぐみさんの四男～
《方町》



元気に育ってネ！

おおいし かずき
大石 和輝くん
(H18.3.5生)
～明広さん・智子さんの長男～
《獅子町》



暖かくなったら散歩しようねっ！

やまうち あさか
山内 麻華ちゃん
(H20.3.6生)
～勝也さん・里美さんの長女～
《高越町》

募集しています

「平戸のわっかもん」

平戸のまちで働く「わっかもん」を紹介します。自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」

スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「Happy Birthday」

発行月にお誕生日を迎える3歳までのお子さんを募集します。掲載は先着3人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。

○応募方法 写真にお子さんの名前（ふりがな）・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはEメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載するとは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町 1508 番地 3 総務課秘書広報班 E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

Town's People CLOSE UP!

まちのひとびと

Club Introduction

クラブ紹介

ブラボーナ

「BRAVONA」 『「サッカーは好きか？」をチームの合言葉に』



■活動DATA■
活動日／不定期
活動会場／田平公園
対象者／23歳以下でサッカーが好きな人
連絡先／代表携帯 ☎080-1745-6485
部員数／20人
参加費／2,000円(月額)
代表／古川 達也さん(大久保町)

BRAVONAは、今年1月に結成したサッカークラブで、ユニフォームにもプリントしている「サッカーは好きか？」を合言葉に、サッカーを愛するメンバー20人で現在練習に取り組んでいます。まだ結成したばかりのチームですが、先輩後輩関係なく、和気あいあいとした雰囲気の中で、純粋にサッカーを楽しんでいます。これから市内の大会をはじめ、さまざまな大会にも積極的に参加していこうと思っており、現在、市内のサッカークラブとの練習試合などを通じてチームのレベルアップを図っています。

BRAVONAでは、現在部員を募集しています。サッカーが好きなメンバーを心からお待ちしていますので興味のある人はぜひご連絡ください。

また、練習試合の相手なども募集しています。どこの会場でも駆けつけますので、ぜひご連絡ください。



「生月小ミニバスケットボールクラブ(男子・女子)」 「気合いと根性、チームワークをモットーに!!」



■活動DATA■
活動日／毎週火・水曜日 午後6時30分～午後8時30分
毎週土曜日 午後5時～午後8時
活動会場／生月小学校体育館
対象者／生月小学校の児童
連絡先／代表宅 ☎53-3330
部員数／27人
参加費／1,000円(月額)
代表／村川 剛さん(生月町支部)

「生月小ミニバスケットボールクラブ」は、男子が3年目、女子が7年目のミニバスケットボールチームで、週3回、男女一緒に楽しく練習しています。ミニバスケットボールは、通常のバスケットボールと比べるとルールが若干異なり、コートが狭く、リングの高さも45cm低い2m60cmです。最も大きな違いは、5人制の試合ですが、3クォーター(試合時間の4分の3)までにメンバー10人が全員試合に出なければならないこと。そのため、チームワークだけでなく、チーム全体のレベルアップが必要だとか。年間に10回ほど大会に出場しており、女子チームは昨年10月に開催された県大会の県北地区予選で惜しくも準優勝でした。今年こそは、夏と秋に開催される県大会本戦へ出場できようと、練習にも熱が入り、元気で大きな声が体育館中に響いていました。



市民の声

Citizen's Voices

このコーナーは、広報ひらどの読者のみなさんからの声を伝えるページです。広報ひらどへの感想、平戸市への思い、身近な出来事など、たくさんの声をお寄せください。

今回の応募総数は、**24**通でした。



▲2月15日に行われた「平戸市犯罪のない安全・安心まちづくり推進大会」における中津良小学校の事例発表からの一コマ。

今月は水産業の特集が掲載されていましたが、海が近い我が家はよくゴミを目にします。テレビでも鳥のヒナがペットボトルのキャップをたくさん食べて亡くなっているのを目にしました。とても悲しいことです。ゴミを出すのは人間だけなのです。少しの心がけで救える命。ゴミを拾う活動も大事なことです。捨てない活動を進めるようにしたいものです。そのためにも、ゴミ箱の設置、またリサイクル回収もしてるところがあまりなく結局家で集めても近くに回収しているところが無くじやまになってしまいます。クリーンリサイクルでも少しずつどうぞよろしく願います。

(ウルトラ兄弟 女性)

5月ごろに弟が結婚することになりました。お姉ちゃん、私、弟の三人兄弟で小さなころから妹がほしくてたまらなかった私。いよいよ妹が出来ます。鹿児島から平戸に、知らない人ばかり、いろいろ大変だと思うので、お姉ちゃんとして助けたいと思います。平戸に来てくれてありがとうございます。

(きみちゃん 35歳女性)

平戸市は、歴史的に魅力のある町なので、市民が一体となり、イベントなどを開催し観光に力を入れることが町おこしの近道だと思います。イベント開催期間は、平戸大橋の通

行料を無料にするなどして、平戸島と本土との行き来の負担が減少すれば、県北地域のみなさんもやじうま感覚(?)で訪島しやすくなり、イベントも盛り上がるのではないかと思います。

(D・i 36歳男性)

広報ひらど2月号の特集「未来への架け橋」を読んで感動しました。この厳しい時代を嘆き悲しんでいたも前には進めませんよ。将来ある子ども達のために、地域の人々で協力しあい、少しずつでも平戸を元気にしていきたいと思いました。一人ひとりの意識が集まればきっと何かが始まると思います。

(K・H 46歳女性)

平戸に引っ越してきて、1年が経ちます。自然に恵まれとても良い土地です。小さい子どもがいるので、雨が降っても遊べる場所が欲しいです。

(hana 31歳女性)

毎月『広報ひらど』を楽しみに愛読している市民の一人です。平戸中心部や部分的な地域ばかりがピックアップされているような気がします。私の住んでいる地域は若者が少なく高齢者の多い地域でこれといって行事なども他地域に比べて少なく、町内に活気はあまりありません。そういった地域は他にもあると思います

が、話題性はないかもしれませんが、そういう地域にもちゃんと公平に目を向けてほしいなと思いました。

(K・S 女性)

今年の1月終わりがら高校3年生の一番下の孫が、初めて自動車学校に通い始めました。仕事はあと面接だけを残し、内定だけは取りました。たくさん仕事をして、お金を貯めて、お姉ちゃんのお世話をしてね。

(みゆきのおばあちゃん 74歳女性)

先日、つたやの賞品券が当たり早速追加をしてロールケーキなどを購入し美味しく頂きました。ありがとうございます。広報を毎回興味深く拝見させていただいております。平戸がもっと元氣になればよかねと願う者の一人です。これからも地域の隅々の事載せて下さいね。

(尚の母ちゃん 43歳女性)

4月からは、東京で、新社会人になります。大学でも地元を離れており、久しぶりに帰った実家で、ふと「広報ひらど」が目に入りました。今年の成人式の写真や、平戸情報が満載で、見ていて、やっぱり、地元についていいなと改めて感じました。どこにいても、ずっと、地元は大事にしていきたいですね。来月もまた、「広報ひらど」楽しみにしています。

(かつ 23歳女性)

昨年、長野の中部信州より平戸へ田舎暮らしで引っ越してきました。長野はアルプスに囲まれ山ばかりでしたが、平戸は反対の海ばかり。これが最高の幸せです。おいしい魚三昧と360度展望(海)の山、どれを取っても言う事無しです。「広報ひらど」も盛りだくさんの内容でとっても読み易く意欲を駆り立てます。ずーっと住みたい平戸島です。

(K・i 65歳女性)

広報ひらど初めて読みました。成人式！はつと6年前になるのかあ。今テレビで活躍している人たちは自分より若いことも多く、驚きと何とも言えない不思議な感覚に襲われます(笑)。中身はともなわずとも年は重ねているんですね。でも何事にもチャレンジしていきたいな！って思います。頑張るぞ！

(sachi☆ 26歳女性)

毎月工夫を凝らして、いろいろな取り組みをされているので、今度は何を取り上げているのかと、わくわくしながら広報ひらどを待っています。市民の声を載せてくださったりと、市民参加型の広報紙になってきたことがとても嬉しく思います。

※このほか、12通のお便りがありました。紙面には、先着順で掲載していますのであらかじめご了承ください。

PRESENTS

読者プレゼントコーナー

平戸路の蔵元「森酒造場」

「しぼりたて原酒・芋焼酎平戸街道」のセットを5名様にプレゼント！

12月から春にかけて蔵は新酒の香りでいっぱいです。毎年心待ちにしている新酒「しぼりたて原酒」今年も好評発売中。アルコール度数が19度なのに甘くてのど越しがいいのが特徴です。冷やで麴の香りを楽しみながら110年引き継がれてきた味そのままをご堪能ください。今回「しぼりたて原酒」と芋焼酎「平戸街道」を各1本ずつセットで5名様にプレゼントいたします。蔵見学(9時-17時)は電話予約が必要です。オリジナルレッテルを作成し、マイボトルの作成ができますので記念日や結婚式の引き出物などにご利用ください。ホームページでは、ショッピングもできます。新着情報やブログもぜひご覧ください。

◎商品についてのお問い合わせ

平戸路の蔵元「森酒造場」

〒859-5115 平戸市新町31番地

TEL 0950-23-3131 FAX 0950-22-4174

URL <http://www.mori-shuzou.jp/>

※プレゼントは、事業所から提供をいただいています。

◎あて先

〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3

総務課秘書広報班

「市民の声&読者プレゼントコーナー」係

▼FAX 22-2419

▼E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

※市ホームページからも投稿することができます。

※個人情報の取り扱いについては、「平戸市個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供しますのであらかじめご了承ください。



創業明治二十八年平戸路の蔵元

市民のみなさんからの おたよりお待ちしております

郵便、FAX、E-Mailで、氏名(ふりがな)、年齢、性別、住所、電話番号、ペンネームまたはイニシャルを記入の上、広報ひらどを読んだ感想や取り上げてほしい話題や記事、平戸市への思い、あなたの身近な出来事などを書いてご応募ください。お便りをくださった人の中から抽選で5名様に上記商品をプレゼント。応募締切は3月20日(祝・金)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

国際交流員

レムコー・フロライクの

HIRADO X-change

平戸と世界をつなぐコーナー

「便利な社会」

日本では、よく「便利」という言葉を耳にします。判がよくありません。

英語では、「convenient」(便利)と言いますが、日本と違ってあまり使うことはありません。日本で「便利」という言葉をたくさん聞くと、「日本人は便利なものが好きなんだなあ」と感じます。

「コンビニ」という言葉は、みなさんご存じのとおり、英語の「convenience store」(コンビニエンスストア)から来た名前です。直訳すると「便利な店」ですね。コンビニでは確かにいろいろ売っていて便利なので、私もたまに行きます。でも、コンビニには地元で作られたお菓子や食べ物はありません。

外国人は、よく日本のシンボル「富士山」に登ります。富士山に神秘的なイメージを持っています。しかし、登ってみると富士山にさえ自動販売機があります。日本では、自動販売機がないところを探す方が難しいかもしれませんね。とても便利ですが、景観や雰囲気合わないという理由で外国人には評

判がよくありません。

最近、ファミリーレストランもとても多くなりました。夜中でも開いているし、値段も安いので便利ですが、どこで食べても同じ料理、同じ味だという気がします。平戸には、平戸にしかない地元のお店がたくさんあって、ファミリーレストランがないのはとてもいいことだと思います。

一般的に日本人は、便利なものが大好きだという気がします。でも、私は不便なところにも魅力があるのではないかと思います。平戸

では、自動販売機のない自然のままの志々伎山に登って感動したり、夜には閉まってしまいうけど地元の食材を使った平戸の味をいくつも楽しめたりします。平戸の「不便なところ」は、外国人にとって魅力の一つだと思います。



「学生納付特例の 継続申請手続きが簡単になりました」

■保険福祉課国保年金班 (☎内線2590) ■佐世保社会保険事務所 (☎0956-34-1189)

おしえて
年金

学生納付特例制度とは、本人の所得が一定以下(※1)の学生が、申請することにより在学期間中の保険料納付を猶予する制度で、初めて申請手続きを行う学生は、在学証明書または学生証の添付が必要です。

しかし、平成20年度から継続に係る申請手続きが変更になり、同一の学校に在学する学生は、社会保険庁から送付される「基礎年金番号の印字されたハガキ」に必要事項を記入し提出することで、平成21年度の申請手続きができるようになりました。在学証明書または学生証の添付は不要です。このハガキは、3月下旬に平成20年度に学生納付特例を承認された学生のうち、平成21年度も引き続き在学予定の学生へ送付されます。

また、学生納付特例が承認されている学生で、平成21年度から保険料の納付を希望する人は、納付書を送付しますので最寄りの社会保険事務所に連絡してください。

※1 扶養親族などがいない学生の場合、一般的な社会保険料控除を加えた所得の目安は141万円です。

『国民年金の届出は忘れずに』

春は異動のシーズンで、「就職」「退職」「転勤」などが多い季節です。これらの節目には国民年金の届出を忘れずに行ってください。

新着図書紹介

みんなの図書館

このほかたくさんの
新着図書があります!!

平戸図書館 ☎22-4017

[3月の休館日]
毎週月曜日(2日・9日・16日・23日)
春分の日(20日・金)、年度末図書整理(27日~31日)

『日本の図像 櫻』
出版社/ピエ・ブックス

日本の代表的な花として、深く愛されてる桜。その桜と日本人の二千年にわたるかかわりの歴史を、絵画・染織・桜の名所、写真など多数の図版によって紹介した一冊です。

希望ヶ丘の人びと/重松 清
架空の球を追う/森 絵都
英雄の書(上・下)/宮部みゆき
ブラザー・サン シスター・ムーン/恩田 陸
猫を抱いて象と泳ぐ/小川 洋子
風花病棟/常木 蓬生
おはぐるとんぼ/宇江佐真理
この本読んで! PaPa's 絵本33/安藤 哲也
九州道路地図3版/昭文社
殿様と鼠小僧 松浦静山「甲子夜話」の世界/氏家 幹人
アレルギーっ子の入園・入学安心マニュアル/佐守 友仁
鼻の病気のわかる本/飯田 誠
1日1分! 骨盤ゴロ寝ダイエット/松岡 博子
ソフトボール眼/宇津木妙子
町内会・自治会・管理組合役員のスピーチ・挨拶/山内 宏一

『ランドセルがやってきた』
文/中川ひろたか
絵/村上 康成
出版社/徳間書店

ある日、幼稚園から帰ってきたうみひこくんがプレゼントが届いてました。送り主は誰かな? 中身はいったいなんだろう...。もうすぐ新入学の季節にピッタリの一冊です。

うさこちゃんがつこうへいく/ディック・ブルーナ
おばけの花見/山本 孝
ふしぎなはなや/杉浦 範茂
木の実のけんか/片山 健
ことりのピチコ/どいかや
からだのなかでドゥンドゥンドゥン/あべ 弘士
まくらのせんじんさんほみちの巻/かがくいひろし
おひとよしのオオシカ/ドクター・スース
らったらたらくのだらっぱ/二宮由紀子
セールス魔女はおことわり/あひるやすこ
風の陰陽師4 さすらい風/三田村信行
ロンド物語3 ロンドの鍵/エミリー・ロット
オバマ YES WE CAN!/ロバート・エドワーズ
ならんだならんだ! おひなさま/チャイルド本社
アリ/栗林 慧

●3月の主なもよおし●

■おはなし会 毎週土曜日 午後2時~
■赤ちゃんおはなし会 10日(火) 午前10時30分~
北部公民館2階和室小

永田記念図書館 ☎28-0128

[3月の休館日]
毎週月曜日(2日・9日・16日・23日)
春分の日(20日・金)、年度末図書整理(27日~31日)

『図書館利用の達人 インターネット時代を勝ち抜く』
著者/久慈 力
出版社/現代書館

一日に数箇所の図書館をハシゴする著者が、図書館を最も効率的に、かつ経済的に利用する方法を紹介しています。図書館を利用している人、これから利用する人、図書館で働いている人に必見の一冊です。

コレステロールを下げる生活事典/井上 修二
中年のたばこ病 COPD/巽 浩一郎
初めての新聞ちぎり絵/新聞ちぎり絵小組
子育て みんな好きなようにやればいい/山田 真
暮らしに役立つスグレモノ 炭を使いこなす/ウッディライフ編集部
保育に生かす紙芝居 大人と子どもが出会う場所/鈴木 常勝

あてて絵本 入門/サトシ
NHKためしてガッテン12/NHK科学・環境番組部編
哲学探偵/鯨 統一郎
夜の光/坂本 司
駅神ふたたび/図子 慧
造花の蜜/連城三紀彦
ヒトリシズカ/譽田 哲也
排除 潜入捜査2/今野 敏
あなたまかせのお話/レーモン・クノー

『やまねこようちえん』
作/那須田 淳
絵/武田 美穂
出版社/ポプラ社

ねこにもようちえんがあるの? そうです。りっぱなねこになるために、こねこたちは「やまねこようちえん」に通っていたのです。そこに、さくらちゃんが、「一日たいけんにようちえん」をして...。さあ、たのしいお話が始まります。

みんなでつくったおひなさま(紙芝居)/柳瀬由里子
おひなさまのいないしよばなし(紙芝居)/ゆづえみ
おばあちゃんのひなまつり/相野谷由起
だから! ねずみくんのチョコキ/上野 紀子
ガチャピンとムックのものがたり/おおのあきこ
北極熊ナマク/ゲイリー・ブライズ
あつ! ゆきだ/ホリー・クラー
はなたれこぞうさま/福知 伸夫
だんろのまえで/鈴木まもる
タイムソルジャー1 REX1/キャスリーン・デューイ
動物だいすき! 5 ちゃっかりハムスター/日本児童文学者協会
妖界ナビ・ルナ① 解かれた封印/池田美代子
ちょっと源さんお借りします/尾崎 美紀
世界記録を生み出すシューズ/広岡 勲
ポプラディア情報館 方言(CD付き)/佐藤 亮一

●3月の主なもよおし●

(各土曜日・各午後2時~)
■おはなし会(絵本・大型絵本・紙芝居など) 7日・21日
■あたのしみ会 14日

※市立図書館の本は、各公民館をとおして貸出や返却ができます。詳しくは、図書館・各公民館の図書室へお尋ねください。



市指定史跡

記録に残る殉教の地「焼罪」

焼罪

松浦家25代隆信(道可)が、天文19年(1550)、フランシスコ・ザビエルが平戸に來たのをきつかけに、キリスト教の布教を許したため、平戸、生月、度島、春日、獅子、飯良などに教会堂が設けられ、平戸では信者が1300人余りに達したといえます。その後、宣教師の渡來が相次ぎ、弘治3年(1557)には隆信の重臣籠手田安経も入信したため、彼を慕い入信する人が急増しました。

秀吉は当初、貿易による利益と引きかえにキリスト教を保護しましたが、天正15年(1587)、宣教師の国外退去と各地の教会堂の取り壊しを命じます。松浦家26代鎮信(法印)も慶長4年(1599)、キリスト教信者に弾圧を加え、厳しく取り締まるようになりました。



▶平戸城や平戸瀬戸が見える岬に整備されている焼罪史跡公園

そのような中、日本に來た宣教師にイエズス会のカミロ・コンスタンツォがいます。慶長10年(1605)、日本に來て小倉や堺で布教しました。布教するためにはその国情とその国民の宗教を知らねばならないとして、日本の歴史や文学、仏教を学び、仏教に関する本も書いています。一度マカオへ追放されますが、元和7年(1621)再度入国し、ひそかに布教に努めます。

しかし、翌元和8年、宇久島で捕えられ、長崎から平戸に送られます。そして同年9月15日、田平



▶碑には炎に包まれた姿が描かれている

の野田で火刑に処せられました。平戸オランダ商館長の日記にも、田平の白い海岸で処刑されたと書かれています。神父をかくまった人々も家族まで含めて多くの人が処刑されました。

現在、野田のハエ崎に記念碑が建てられ、焼罪公園として整備されていますが、元はここより50mほど北の丘にあったものが、海岸の崩落により危険になり移されたものです。

文化財DATA

- 名称 焼罪
- 種別 市指定文化財(史跡)
- 指定年月日 昭和43年11月10日
- 所有者 カトリック長崎大司教区
- 所在地 田平町野田免

「走る」喜びを子どもたちへ教えたい。

毎日が子どもたちとの練習時間。スポーツの喜びを自分だけでなく子どもたちにも知ってほしい。

横岩 勝

スポーツボランティア

苦しい練習を乗り越えてこそ、スポーツの喜びがある。



今では、毎日が子どもたちとの練習時間。「一日も欠かさず続けてやれるのも、家族の理解があればこそですね」と横岩さん。「子どもたちは、本当に素直な子どもたちばかり。練習は厳しくしていますが、心ではいつも応援しています。泣く位練習は厳しいかもしれませんが、それを乗り越えた時に、きっと結果がついてくると信じて指導しています」と熱く語ってくれました。

スポーツの喜びをたくさん子どもたちに教えるため、横岩さんは今日も仕事が終わってからグラウンドに向かいます。

生涯学習実践人
横岩 勝さん
◎田平町深月免(56)

九州電力(株)松浦火力発電所内スエ市平会館勤務。平戸市青少年健全育成委員会副会長。趣味は釣りとランニング。ボランティアで市内のマラソンのほか、県外の大大会などにも子どもたちを連れて積極的に参加している。



真っ赤な夕陽を浴びた放課後の校庭で、ランニングする子どもたちにストップウォッチを片手に元気な声で呼び掛けている人がいます。横岩勝さんです。横岩さんは、何よりも走ることが大好き人間と豪語するおり、若いころには、当時勤務していた江迎町まで、わざわざ遠回りして走って行っていたとか。走った後の爽快感は何とも言えないそうです。横岩さんは、この楽しさをもっと多くの子どもたちにも教えたいとの思いで、今から10年程前、現在の職場に変わったのを機に、ボランティアで陸上クラブを自ら立ち上げました。





木造から煉瓦造への過渡期の姿を示す
市内最古の教会堂

県指定有形文化財

宝亀教会

指定日：平成15年3月25日
種別：県指定有形文化財（建造物）
名称：宝亀教会
所在地：平戸市宝亀町1170
建設年代：明治31年（1898）
構造形式：煉瓦造および木造

世界遺産

平戸から世界遺産を

The world's cultural and natural heritage



市内に現存する最古の教会堂「宝亀教会」

Vol.06

特徴的な構造を持つ
「宝亀教会」

宝亀教会は平戸瀬戸を見下ろす高台にあります。教会堂の建築は、マタラ神父（1856～1921）が明治30年に自ら指導して取りかかり、明治31年に完成しています。

建物は、木造切妻造り、屋根は単層屋根構造で瓦葺となっており、外側は下見板張り、建物正面の玄関部分のみ1間が煉瓦造りとなっています。煉瓦部の左右側面は露出させていますが、正面はモルタル塗り着色仕上げとなっています。

会堂部左右側面には下屋が付けれ、テラスが設けられています。テラスと内部の側廊部は、床面まである出入可能な両開き窓を5面設けています。このようなテラスを持つ教会堂は県内でも大変珍しいものです。テラスの天井は斜め板張りの透かし天井となっており、長崎洋館などで見かけるテラスにも似た造りが行われています。

内部は三廊式で、主廊部正面に祭壇を設け、後部には香部屋へ通じる扉があります。香部屋には屋根裏部屋もあり、明治38年（1905）まで司祭部屋として使われていました。今年度行った教会堂の調査の際に、その部屋を拝見させていただくことができました。当時の天主堂の使われ方がうかがい知ることができ、今でも強く印象に残っています。

玄関上部には聖歌隊席があり、外からの階段で上がる仕組みとなっています。天井はリブ・ヴォールト（こもり）天井で、全てのアーチは尖頭形であり、教会堂建築の特徴をよく表しています。

堂内には、窓（ステンドグラス）から入る光が内部を明るく、また神秘的に照らしており、教会を訪れる多くのみなさんに感動を与えています。宝亀教会は、木造から煉瓦造への過渡的な姿を示す、また、市内に現存する最も古い教会堂として、重要な価値を持っています。

世界遺産登録に向けた
今後の取り組み

現在、県および関係5市2町では、各種調査を行うとともに、国内外の専門家を招き、その意見を参考にしながら「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けた取り組みを進めています。現地を視察した専門家は、『県内各地に分布する教会堂とともに、長崎でおきた潜伏からの復活という歴史は世界的にみても特徴的である。それらを十分に調査し研究する必要がある』。さらに、『他国との比較研究や、実際に教会を使用している方々との調整も必要であり、あまり焦ってやるのは問題もある。世界遺産としての価値を、確実に、十分に証明していく必要がある』といっています。

お問い合わせ

文化遺産課文化遺産班
☎内線2632



▲㉔会堂部の側面に設けられたテラス、㉕リブ・ヴォールト（こもり）天井など宝亀教会は特徴的な構造を持つ教会堂です。

近年の世界遺産委員会において、審査が厳格化しているといわれており、新規登録数も抑制傾向にあります。近年では、「平泉」が登録延期になった経緯もあり、「長崎の教会群」においても確実に世界遺産登録に結び付けていくための取り組みを進めていかなければなりません。

世界遺産の構成資産になるためには、多くの課題をクリアしなければならず、市では所有者や地域のみなさんの協力を得ながら、これらの課題解決に向け、保存・活用策などを検討していきます。



平成20年度 平戸市市民

平成20年度 平戸市市民表彰式

2月10日、平戸文化センターで、「平戸市市民表彰式」が行われました。

昨年12月の「第57回全日本相撲選手権大会」で見事優勝し、アマチュア横綱に輝いた松永六十四さんをはじめ、各分野において、高い識見と優れたリーダーシップで市政推進にご尽力いただいた56人のみなさんに対し、表彰状が贈られました。

各功績ごとの受賞者は、次のとおり

◎ 体育功労	松永六十四	川内町
◎ 産業功労	小関 哲	岩の上町
◎ 自治功労	岩井 克二	大島村大根坂
◎ 地方自治	庄司 孝一	明の川内町
	銀吉屋弘輝	大久保町
	北古賀恒介	宮の町
	大石 正廣	猪渡谷町
	森元 芳弘	前津吉町
	川 春見	生月町里免
	橋本 興機	生月町里免

◎ 産業	篠崎 繁実	崎方町
	森 藤雄	崎方町
	柴山ムツ子	志々伎町
	赤木 怜二	田平町里免
	森 宮子	田平町里免
	山口 清一	木場町
	井手 俊子	大山町
	長井 營	崎方町
◎ 社会福祉	川上 功	大島村前平
	近藤 保	生月町南免
	西澤美恵子	生月町館浦
	西澤 清平	生月町館浦
	後藤 潔	生月町里免
	村川ハツエ	生月町老部
	内山 勝吉	生月町御崎

◎ 防犯防災・交通安全	吉田 伯芳	中野大久保町
	青山 茂良	戸石川町
	下條 役夫	田平町下亀免
	野口 明	田平町里免
	鳥山 泰隆	生月町山田免
	塚本 雅英	生月町里免
	白川 木星	田平町里免
	中瀬 総一	田平町深月免
	山下 義人	田平町下亀免
	辻屋 直紀	田平町福崎免
	山村 茂巳	大島村神浦
	柳原 一満	大島村西宇戸
	吉岡 利昭	生月町南免
	大水 文雄	田平町小崎免
		田平町小崎免

受賞おめでとうございます

学習指導、生徒指導などの学校教育活動において顕著な成果を挙げている先生のみなさんが、各種表彰を受賞しました。また、小・中学生のみなさんも美術作品展や読書感想文コンクールで優秀な成績を収めています。ここでは、その一部を紹介します。

文部科学大臣優秀教員表彰



福島由紀夫さん
／度島中学校

毎年秋に行われる「西日本読書感想文コンクール」、「子ども県展」などにおいて、県知事賞など多くの入賞者を輩出しています。このほか、他市の教育研究会へ出張指導を行うなど、美術教育の底辺拡大に大きく貢献しています。

第54回青少年読者感想文全国コンクール

サントリー奨励賞

山内 七海さん
／田平南小学校1年



平成20年度長崎県教育長表彰



福田貴和子さん
／度島小学校

平成17～19年度の文部科学省委嘱「学力向上拠点形成事業」において、研究主任として尽力されました。研究では、定期的に算数クイズを掲示板に掲載するなど、児童の算数に対する興味・関心を高め、算数の学力を向上させました。

竹藤 鈴子さん
／大川原小学校

2つの学年と一緒に学ぶ複式学級の多い小規模校で、学習指導に使用する「ガイド学習の手引き」を同校児童の実態に合わせて作成し、学習効果を高めています。また、地域との交流事業にも積極的に取り組んでいます。



第54回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」



度島中学校がすごい！
特選以上に19人の生徒が入賞

文部科学大臣優秀教員表彰を受けた福島由紀夫先生の指導のもと、度島中学校が快進撃を続けています。「子ども県展」において、生徒数43人中19人が特選以上に入賞。入賞作品は、知事賞1点、教育委員会賞2点、造形教育研究会賞3点の特別賞を含む28作品に及びます。また、絵画、デザイン部門では、優秀校賞を、立体部門では優良校賞も併せて受賞しました。

知事賞



【デザイン部門】
川下 正美さん
／度島中学校3年

【版画部門】
山口このみさん
／田平南小学校6年



そのほかの、
特別賞受賞者は次のとおり

教育委員会賞	
【絵画部門】	
濱田えみか	度島中学校3年
【立体部門】	
古川 杏奈	度島中学校1年

造形教育研究会賞	
【絵画部門】	
古川 雷太	度島中学校1年
古谷 尚海	中野小学校3年
【デザイン部門】	
古川 陽子	度島中学校2年
【立体部門】	
堺 莊汰	度島中学校3年
	(敬称略)

(敬称略)

漁協はどこへ向かうのか 再生を懸けた経営改革

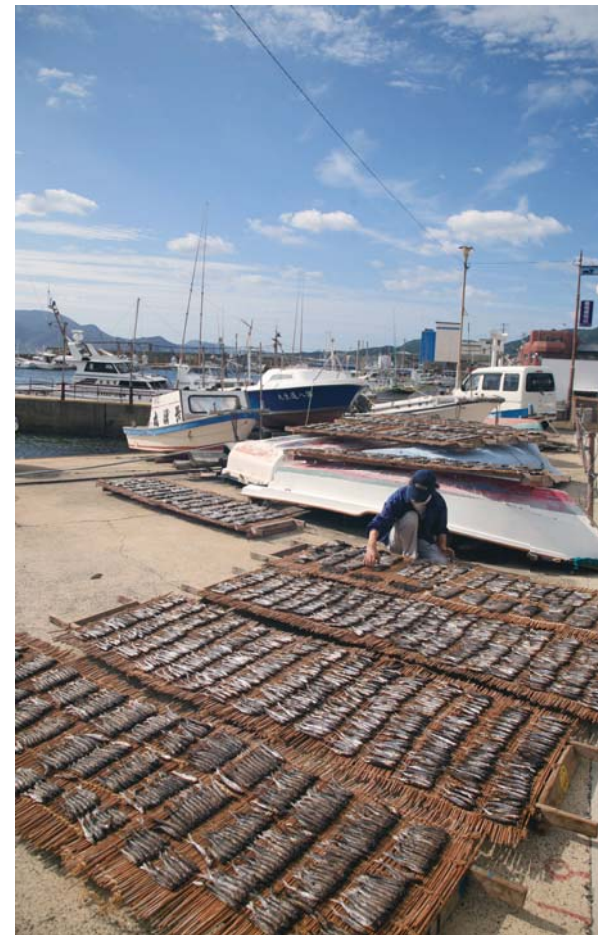
このコーナーでは、平戸市の水産業が抱える問題点や課題について考え、必要な対策に関する提言をシリーズで掲載します。
漁業関係者に限らず、市民のみなさんのご意見をお待ちしています。
お問い合わせ 水産課水産振興班 ☎内線2212

現在、漁協においては、漁業就業者（組合員）の減少傾向が続く、漁業生産高も停滞から縮小へと向かいつつある中、漁協の事業量（取扱高）は縮減を迫られ、事業総利益が減少して管理費を賄うのが難しくなってきました。

また、これまでのように国の手厚い保護を受け続けることも、財政的な問題などから徐々に困難な状況になっていきます。

本来「協同組合は、組合員の自治に基づく自助組織であって、組合員が自ら管理・運営するもの」です。厳しい状況の中でも組織と経営を維持するための第一原則は、「自己決定」にあるといえます。

今こそ、漁業の存続を懸けた「改革（現状を根本から見直し、有効な体制に改めること）」を推し進めることが求められているのではないのでしょうか。



**常に販売を意識した
漁獲を目指す！**

一般的に漁獲が最も安定して多かった時期は、昭和50年代後半です。しかし、このころからすでに始まっていた資源の減少傾向（乱獲と漁場環境の変化が原因）やプラザ合意以降の急激な水産物の輸入増加といった構造変化。それにも関わらず、バブル景気による一時的な魚価高が問題を顕在化させなかったために、対応が後手に回り、その後のバブル崩壊とともに国内の漁業は赤字体質へと変化しました。

本来、漁業には「放っておけば共有資源を争奪する」という「狩猟産業」としての宿命があります。その結果、急激な漁獲増で魚価は低迷、資源は枯渇、跡に残るのは過大な設備投資と借金という事態にもつながりかねません。

例えば、『アゴ漁』に最も顕著に言えることですが、組合や地区の垣根を越えて本気で「生産調整」に踏み切つてはいかがでしょうか。各地区代表者による協議で出漁を決め、厳格に運用することさえできれば、無駄な経費と時間を削減し、採算割れの魚価を回避することが可能となります。漁獲競争のための無駄な投資は同じ地域に住む仲間同士で話し合えば必ずや軽減できるはずです。

また、国民の水産物消費量が減少し、肉や輸入水産物との競争下にある中で国内水産物の消費価格が昔のように上昇することを期待するのは困難です。したがって、消費価格が一定でも生産者価格を引き上げることが考えなければなりません。昔は、多くの魚は地元流通が主体で、町の魚屋で丸のまま新聞紙に包んで売られていました。

しかし、現在は価格形成に絶対的な影響力を持つスーパーが販売の中心となっています。「魚価安」に関する具体的な解決策は、自ら流通・販売に取り組み以外にありません。詳しくは、広報ひらど1月号（シリーズ）「平戸市の水産業を考える」Ⅲをご覧ください。

組合員一人ひとりが漁協の経営者であることを認識する！

漁協は組合員のために幅広い事業（サービス）を行っています。それが

すしかありません。「昔からやってきた」だけでは旧体制の米沢藩になつてしまします。「組合員が自らできることか、どうしても漁協に頼らざるを得ないことか」を再度整理し、自助と互助の原点に戻ることこそが、漁協経営の改革ではないかと考えます。

一緒に未来を築こう！

これまで、平戸市の水産業が抱える問題点や課題について4回シリーズで提言をさせていただきました。目まぐるしく諸情勢が変化する現代において、山積する課題に的確に対応するには「さまざまな変化に順応できる「人財（財産）」をいかに確保できるか」がとても大切になっているように感じます。

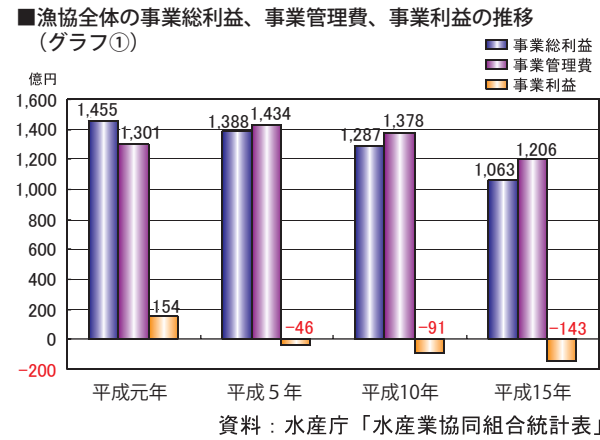
「鷹山」は、九州の日向国（現在の宮崎県）の高鍋藩から上杉家に養子に行つて苦勞を重ね、見事に米沢藩の財政再建を果たしました。

漁業関係者に限らず、市民のみなさん一人ひとりが「平戸の宝」を見つめ直し、「宝」を磨いて活かすことにより未来を築いていきたいものです。最後に誰もが知っている「鷹山」の有名な言葉を紹介して終わりにします。

為せば成る
為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり…

**事業の実施体制を
抜本的に見直す！**

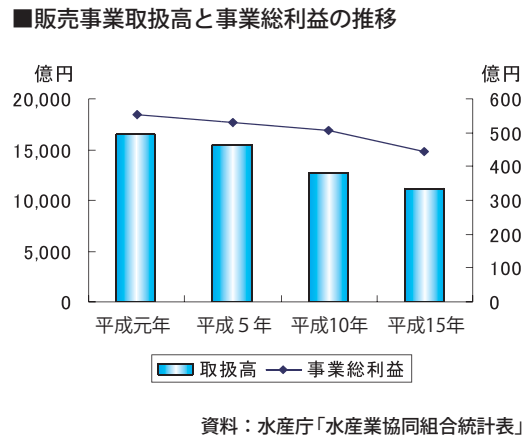
漁協の収支状況は、グラフ①で判るとおり、事業総利益が減少してい



るにも関わらず事業管理費の削減が追いついていません。通常、経営改善策は、変動の激しい水揚げによる手数料増大策より、確実性が高い事業管理費の削減が主体となります。

そこで、長年の業務のあり方を根本から見直し、同時に新たな分野に取り組むなど事業総利益の増加策を見い出すことが理想です。漁協業務の根幹を成すのはやはり「販売事業」にほかならず、取り組みを強化するポイントは「ここ」にあるといえます。

かつて、江戸時代に膨大な財政赤字を抱えていた米沢藩を再建したことで有名な「上杉鷹山」という藩主がいます。「鷹山」が藩主になった当時の米沢藩は、藩の財政が極端に悪化し、金銭や物品が不足し、家臣も領民も貧困にあえいでいました。



その原因は、会津藩時代の120万石が30万石に減つても家臣団を従来のまま召し抱え、上杉謙信以来の名家への誇りを忘れられず贅を尽くした生活を改められなかったことにあります。

「鷹山」は、家臣にこのような生活を改めさせるとともに、新田の開発・河川の改修・橋の掛け替えなど家中をあげての労役奉仕による大規模な開発事業を行うことで、生産性の向上につなげたといわれています。「鷹山」の優れたところは、「自助、互助、扶助」の精神にあります。「自助」は組合員自身の努力、「互助」は漁協の組合員同士での助け合い、扶助は行政や系統団体からの支援」に置き換えることができます。

徹底的な見直しの結果、採算が合わない事業があれば、その結果を組合員に説明のうえで理解を得て見直

Human resource Development Project for Tourism in Hirado and Matsuura 平戸・松浦地区観光人材育成プロジェクト

観光産業を核に、地域の活性化と雇用の創出を目指します！
<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/jinzai/>

「①特産品開発」、「②食・地産地消」、「③もてなし」、「④体験型観光」の4つの分野における人材を育成し、地域産業の再生による雇用を目的に実施しているこのプロジェクトは、1月下旬から2月上旬に実施した『食』のワークショップー平戸素材の劇場ーにも多数の市民のみなさんに参加していただきました。今月号は、そのワークショップの様子をご紹介します。

◎食のワークショップー平戸素材の劇場ー No.4「平戸野菜と新鮮スイーツ」

1月29日、市ふれあいセンターで、第4回『食』のワークショップー平戸素材の劇場ーを開催しました。JALリゾートシーホークホテル福岡総料理長・山並辰巳氏を講師に迎え、平戸野菜を使った「じゃがいもクレープ」や「ミニトマト大福」を参加者と一緒に作り、日ごろ身近にある野菜を違った味わいでおいしくいただきました。

市内から参加した約20人のみなさんは、野菜の良さをよく知っている生産者や野菜ソムリエでもある山並氏、そして、食環境ジャーナリストの金丸弘美氏の説明を興味深く聞きながら、楽しくおいしく学びました。



◎食のワークショップー平戸素材の劇場ー 特別編「平戸の菓子文化を日本茶とともに」

2月8日、平戸「蔦屋」(木引田町、按針の館)で、特別編『食』のワークショップー平戸素材の劇場ーを開催しました。平戸藩松浦家に伝わる「百菓之図元本」から復元され、現在商品化されている「烏羽玉」をはじめとして、新たに商品化を目指している「更紗香」などの復元菓子を、店主である松尾俊行氏の説明を聞きながらおいしくいただきました。

また、日本茶インストラクターの今村由美氏を招き、平戸から全国に伝わったお茶の文化やおいしいお茶の入れ方を学びました。市内から参加した約20人のみなさんは、和やかな雰囲気の中で、平戸の菓子と茶文化をおいしく学びました。



お問い合わせ

平戸・松浦地区観光人材育成協議会事務局（観光商工課内） ☎内線2276

E-Mail : kankou_jinzai@city.hirado.lg.jp

URL : <http://www.city.hirado.nagasaki.jp/jinzai/>



日本列島の北と南に遠く離れた北海道枝幸町と平戸市。気候や文化、産業経済など、全く違う環境で育った中学生が、相互交流することで、新たな発見やふるさとの良さを再発見する交流です。

今年度は、12月25日から29日までの5日間、市内の中学生6人が北海道枝幸町を訪れました。参加した生徒のみなさんは、酪農家や漁師(毛ガニ漁などの家にホームステイしながら、枝幸町への表敬訪問や雪遊び、スキー体験など北海道の冬をさまざまな形で体験することができました。

交流期間中は、ちようど大雪となったこともあり、見渡す限りの雪また雪、一面銀世界で普段は体験することのできない冬の厳しさや北海道のみなさんの大変さを実感しました。

また、ホームステイ先の生徒や家族のみなさんとも友好を深めることができ、大変有意義な交流となりました。交流の詳しい様子は、市ホームページでも、紹介しています。



①枝幸町役場を訪問し、荒屋吉雄町長、村上守継副町長らに歓迎を受けました
②みんなで作ったかまくらの中に入り記念撮影
③見たことのない雪の深さにびっくり！この後、白銀の大地に飛び込みました

参加した生徒のひとこと

▲吉澤 夏実さん(平戸中2年)
枝幸の雪は、とてもやわらかくサラサラしていて、コートの上に舞ってきた雪の結晶を見ることができました。

▲上田 祐貴さん(田平中1年)
平戸では作ることのできない「かまくら」をみんなで協力して作りました。中に入ってみると本当に暖かく、不思議な気分になりました。

▲柴山 貴くん(野子中1年)
ホームステイ先は漁業(毛ガニ漁)を営んでいて、毛ガニをごちそうになりました。食べるのは初めてで、とてもおいしかったです。

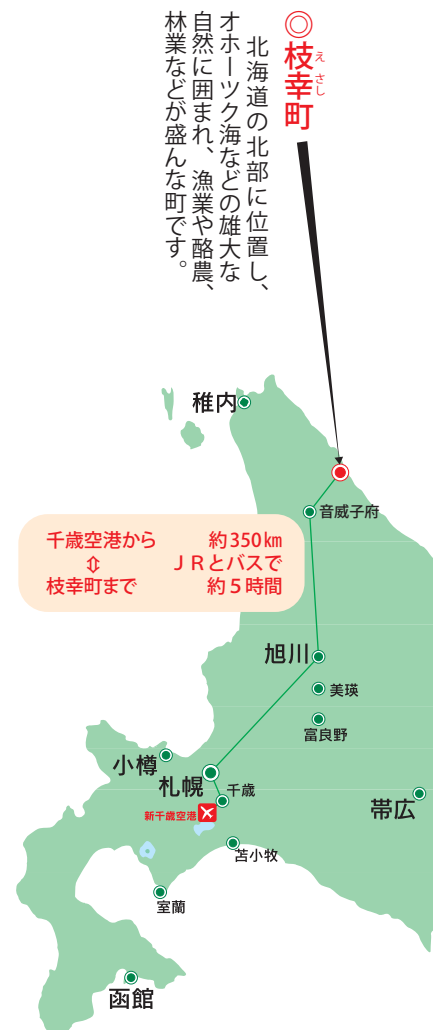
▲古川幸之介くん(度島中1年)
ホームステイ先(酪農家)では、エサやりや乳搾りの作業など、仕事の大変さはもちろんですが、生き物を育てる愛情や命の大切さ、家族が協力して働くことのすばらしさを知ることができました。

▲増田 純一くん(中野中1年)
スキー体験では、リフトに乗って上まで昇り、一度目は何度か転んだけど二度目以降は、転ばずに滑れるようになりとても嬉しかったです。

▲永田 里沙さん(中野中1年)
雪遊びでは、スノーモービルに乗ったり、かまくらを作ったり、全てが平戸では経験できない事ばかりでとても楽しかったです。

未体験の銀世界へ浪漫飛行

平戸市から遠く離れた北は「北海道枝幸町」との交流。
この交流は、それぞれ市町村合併する前の旧歌登町と旧生月町とが平成14年に開催された「国道も鉄道もない(通称…ないないサミット)」で偶然出会ったことから始まりました。



「広報ひらど」のスタッフを体験！

中学生記者による「中部中学校職場体験」レポート

1月20日から22日にかけて、中部中学校の2年生(生徒数64人)が、市内の病院、市役所、農業、福祉施設などの26事業所に、各1～6人に分かれての職場体験学習を行いました。

この職場体験の目的は、実際に社会に出て、人とのふれあい、現実のきびしさを体験し、これからの自分の将来のことを考えていくために行っています。

私たちは、今回、市役所総務課で、広報ひらど製作の仕事の体験を行い、東和愛児園に職場体験に来ている6人の生徒の奮闘振りを取材してきました。



Interview



中部中学校 2年2組

西島 奈々子 さん

「将来の夢は、
保育士になることです」

私かなぜ、保育園を選んだかというと、子供が好きだからです。実際に体験してみると、思っていたよりはしゃぐ子達が多くいて少し大変でした。

でも、赤ちゃんのミルクのやり方など、先生から教えてもらって、いろいろと学ぶことができました

将来の夢は保育士になりたいので、職場体験で学んだ事を、今後、活かしていきたいです。



Interview



中部中学校 2年2組

石田 駿太 くん

「将来の夢は、
お父さんになることです」

僕は、なぜ東和愛児園に行ったかというと、子どもが好きだし、保育士がどういう仕事をしているのかを知りたかったからです。布団を敷いたり食事の世話をしたりと、大変なことがあって疲れたけど、どんどん楽しくなって、やっぱり子どもは可愛いと思いました。この体験を通して、将来の子育ての役に立てればいいと思います。



「このページの写真とレイアウトは、私たちが担当しました」

Editorial

中学生記者からひとこと



中部中学校 2年2組

永田 陽香 さん

職場体験で、最後の日が広報ひらどの仕事で驚きました。しかも、取材したのが自分が昔に通っていた保育園だったので、よけいに緊張しました。実際にカメラを使ってみると重いし、ぶれたりして大変でした。でもこの3日間は、自分にとって貴重な時間でもありました。これを活かし、将来に役立てたいです。



中部中学校 2年2組

松尾 実咲 さん

職場体験で、広報ひらどの取材をして、思っていたより、カメラで写真をとるのが難しかったり、まとめ方が難しかったりしたけど、いろいろと勉強になりました。普段、体験できないことを、経験できて、仕事がどれだけ大変なのかが、分かりました。これからは、この職場体験を活かして、将来に役立てたいです。

歴史の街の、お雛様。

平戸温泉城下雛まつり

3月3日(火)～4月3日(金)

松浦史料博物館にて展示する「芥子雛」と100点あまりの雛道具をはじめ、7か所の拠点会場に雛人形が展示され、行きかう人々の目を楽しませてくれます。

また、期間中さまざまなイベントも開催されます。

早春の平戸路を雛人形を探しながらみなさんも歩いてみませんか？



◎拠点会場(有料)

松浦史料博物館

(午前8時～午後5時30分)

平戸観光資料館(山鹿素行資料館)

(午前8時～午後5時)

平戸城

(午前8時30分～午後5時30分)

梅ヶ谷津偕楽園

(午前8時30分～午後5時)

◎拠点会場(無料)

按針の館

(午前9時～午後5時)

旧親和銀行平戸中央支店跡

(午前9時～午後5時)

婆娑羅

(午前9時～午後5時)

「のぼり」が目印！

こののぼりがある拠点会場や商店では、自由に雛人形をご覧になれます。こののぼりは、「平戸温泉城下雛まつり」を盛り上げる契機となるよう平戸ライオンズクラブ(宮本圭二会長)から約100本寄贈していただきました。



開催イベント情報

■オープニングセレモニー

3月3日(火) 午前10時～

●松浦史料博物館

女性や子どもたちによるテープカットや歌の披露、パレードが行われます。



■手作り雛コンテスト作品展示

3月3日(火)～4月3日(金) 午前9時～午後5時

●旧親和銀行平戸中央支店跡

平戸商工会議所女性会が、みなさんから寄せられた手作り雛人形の作品展示とお休み処としておもてなしてくれます。会員手作りの雛グッズもあります。

■平戸城下雛の市

3月15日(日) 午前10時～

●旧親和銀行平戸中央支店跡

平戸商工会議所女性会が、平戸の特産品、雛グッズの販売、ぜんざいの無料配布を行います。

■呈茶

3月22日(日) 午前10時～

●按針の館および旧親和銀行平戸中央支店跡

お問い合わせ

平戸温泉・城下雛まつり実行委員会
(観光商工課内) ☎内線2272

■「雛壇かけのぼり道中記～平戸ことはじめ～」

3月20日(金) 午後1時～

●魚の棚町～崎方町商店街通り

「仮装パレード参加者募集」

平戸の歴史、風土、新平戸市を表現する人物や特産品、また、現在活躍している人々や商品などにスポットをあて、仮装して平戸城下商店街通りにて行うパレードに参加してくれる人を募集しています。詳しくは、実行委員会にお問い合わせください。

■九州電力(株)平戸営業所協賛イベント

●「キレイ・ライフひらど」(木引田町商店街内)

3月3日(火)～4月3日(金) 午前10時～午後4時

※期間中の平日のみ

雛飾りおよび繭玉の展示が行われます。

◎料理教室 3月14日(土) 午前10時～

「えびと菜の花の香り寿司」や「ふわふわすりみ揚げ」など雛まつりにちなんだ春メニューを作ります。

◎親子料理教室 3月20日(金) 午前10時～

「ぼんぼりつくね」や「海老のふくさ寿司」など親子で春メニューによるワンプレートランチを作ります。

お問い合わせ

九州電力(株)平戸営業所営業グループ(吉永)
☎0120-986401



募 集

INVITATION

公営住宅の入居者を募集します

■ 市・区画課総務住宅班
☎内線2285

入居を希望する人は、申込書に添付書類を添えて、都市計画課、または各支所産業建設課にお申し込みください。

○募集戸数 13戸

- ① 平戸地区3戸 ② 生月地区5戸
③ 田平地区5戸

○申込締切日 3月13日(金)

※郵送でも受け付けます。(必着)

○申込資格 原則として、次のすべての要件を満たしていることが必要です。

- ① 収入が公営住宅法施行令に定められた基準内であること
- ② 住宅に困っていること
- ③ 地方税などの滞納がないこと
- ④ 特定公共賃貸住宅は、同居または同居しようとする親族があること

○添付書類 ① 世帯全員の源泉徴収票または所得証明書 ② 納税証明書 ③ 住民票謄本

○選考方法 募集戸数を超えた住宅については、抽選により選考します。なお、抽選会は、3月下旬に開催予定です。

※抽選会の開催については、該当者後に日通知します。

【注意】入居決定後に入居を辞退することがないよう、事前に十分検討してお申し込みください。

平成21年度臨時職員の登録を受け付けます

■ 市・区画課総務課人事班
☎内線2317

○採用期間 4月以降の必要な期間
※必要に応じて選考採用します。欠員などが無い場合は、登録しても採用されない場合があります。

○職務内容 事務補助、給食調理業務、看護師など
※職種によって異なります。

○勤務時間 1日6時間～8時間

○登録方法 市販の履歴書、または総務課人事班・各支所市民協働課に備え付けの申込書に必要事項を記入の上、提出してください。看護師として登録をする人は、免許証などの写しを添えてください。

※登録の有効期限は、平成22年3月31日までで、提出書類は返却しません。
○応募資格 地方公務員法第16条の欠格事項に該当しない人
○日額賃金 5500円(事務補助、8時間勤務の場合)

お知らせ

INFORMATION

ご注意ください！ 消火器の不適正販売！

■ 消防本部予防課
☎22・3167

昨年から九州各県で、消火器の訪問販売による不適正取引が増え続けており、

国際交流ボランティアを募集します！

■ 市・区画課地域振興班
☎内線2338

オランダや中国との国際交流で、通訳ボランティアやホームステイの受け入れ先としてご協力いただける市民のみなさんを募集します。

○募集内容 ① 通訳(英語・中国語など)

② ホームステイの受け入れ先

○申込方法 郵送またはFAX、Eメールで「国際交流ボランティア登録希望」と明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・協力内容(①または②)を記入の上、企画課地域振興班までお申し込みください。

▼FAX 22・5178

▼Eメール shinkou@city.hirado.lg.jp

※申し込みいただいた人は、国際交流ボランティア名簿に登録され、随時協力依頼の連絡をします。

平成21年度市奨学資金の奨学生を募集します

■ 市・区画課教育委員会庶務課総務班
☎内線2605

○対象者 高校・高専・専修・短大・大学に進学予定、または在学中で、扶養者が市内に居住しており、経済的理由から修学が困難な人

※ほかの奨学制度からの貸与を受けている人は、対象となりません。

○貸与金額(月額)

▼高 校 1万2000円

▼高専・専修 1万2000円～3万円

▼短大・大学 3万円

○募集期間 3月2日(月)～4月30日(木)

○貸与期間 正規の最短修学年限の期間貸与します。

※休学したときなどの期間に対しては、貸し付けできません。

○返還期間 貸与期間満了の月の翌月から据置期間を1年以内とし、貸付期間の2倍に相当する期間内に月賦、半年賦、年賦、または全額返還となります。※近年、奨学資金の貸与を受けながら返還できない奨学生が増えています。貸与した奨学生は、卒業後必ず返還する義務を負うことになります。募集要項をよく確認の上、お申し込みください。

「緑の募金」にご協力ください

■ 市・区画課農林課林務班
☎内線2266

3月1日(日)から、緑の募金活動が始まります。集められた募金は、地域の緑化や、水をはぐくむ重要な役割を果たしている森林の整備をはじめ、森林ボランティア活動の推進など幅広い緑化事業に利用されます。市民のみなさんの温かいご協力をよろしくお願いいたします。

○募金方法 家庭募金(一世帯当たり100円)・職場募金・街頭募金

○募金活動期間 3月1日(日)～5月31日(日)

「特別慰労品」贈呈の受付は3月31日までです

■ 市・区画課福祉課総務班
☎内線2563

○対象者(本人からの請求のみ)

▼恩給欠格者 恩給などを受けていない旧軍人の人

▼戦後強制抑留者 シベリアなどで強制抑留された人

▼引揚者 一年以上外地で生活して戦後引き揚げてきた人

○請求締切日 3月31日(火)

○請求方法 市福祉事務所・各支所市民協働課・各出張所に備え付けの請求書をご利用ください。

平成22年成人式(平戸地区)の日程が決定しました

■ 市・区画課生涯学習課社会教育班
☎内線2623

開催日についてアンケートを実施していましたが平成22年1月の成人式(平戸地区)につきましては、次の日程で実施することに決定しました。

これまで開催してきた「成人の日」の前日(日曜日)から変更になっていますので、市外在住の来年成人式を迎える人にお伝えください。

○とき 平成22年1月3日(日)午後1時から

○ところ 平戸文化センター
※生月・田平・大島地区の日程は、例年どおりで変更はありません。

Information

「灯りと闇の幻想」木ヶ津千灯籠春まつり開催！

昼間は、普門寺などの境内散策や木ヶ津じのもん市と題した直売会、昔遊びが体験できるイベントなど盛りだくさんです。夜は、石灯籠100基と竹灯籠4,000本が木ヶ津を照らし出します。

○とき 4月4日(土)～4月5日(日)

○ところ 木ヶ津町一帯(普門寺、風香寺ほか)

お問い合わせ 木ヶ津千灯籠春まつり実行委員会
(村さん ☎28 - 1458)



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

Topics

窓口「老眼鏡」を寄贈していただきました

このほど、これまで税務課窓口「老眼鏡」がなかったことから、「めがねのみい」(浦の町・山口真貴代 代表)から老眼鏡のセットを10個寄贈していただきました。窓口で申請書などを記入される際はぜひご利用ください。なお、寄贈いただいた老眼鏡のセットは、市役所1階各課窓口、各支所・各出張所の窓口に設置しています。ご提供ありがとうございました。

お問い合わせ 税務課納税班 ☎内線2544



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします



お知らせ

INFORMATION

川内・度島地区のブロードバンドサービスが開始されます

企画課情報化推進班
☎内線2339

市内における高速情報通信環境の格差を解消するために進めてきた「平戸市ブロードバンド基盤整備事業」が、3月末で完了します。これまでブロードバンドサービス未提供地域であった川内、度島地区でも、ブロードバンドサービスを利用できるようになります。

○対象世帯 電話番号が次の表に該当する世帯

エリア	市内局番(加入者番号)
川内エリア	2 0 (4 × × ×)
	2 1 (4 × × ×)
	2 4 (2 × × ×)
	2 6 (4 × × ×)
度島エリア	2 0 (7 × × ×)
	2 1 (7 × × ×)
	2 5 (2 × × ×)
	2 6 (7 × × ×)

※対象世帯でも、設備などの状況によりサービスが提供できない場合があります。

建築確認・完了検査の申請手数料を改定します

岡都市計画課建築営繕班
☎内線2287

建築基準法の改正に伴い、4月1日受付分から建築確認、完了検査の申請手数料を改定します。

また、道路位置指定の申請も併せて有料となりますので、お知らせします。

○建築確認・完了検査申請手数料

床面積の合計	確認申請	完了検査
30㎡以内	7,000円	14,000円
30㎡を超え100㎡以内	13,000円	17,000円
100㎡を超え200㎡以内	20,000円	23,000円
200㎡を超え500㎡以内	28,000円	32,000円
建築設備	11,000円	16,000円
電動ダムウエーター	6,000円	10,000円
工作物	11,000円	12,000円

※表には構造計算適合性判定料は、含まれていません。

○道路位置指定申請手数料

▼非自己用(新規・変更・廃止)

5万円(1件当たり)

▼自己用(新規・変更・廃止)

5000円(1件当たり)

○回線速度 1・5M、8M、モアスペシャル(電話共用型のタイプ1と専用型のタイプ2があります。)

※通信環境、ADSL区間の状態により実際の速度と異なることがあります。

○サービス開始日 4月1日(水)

○サービスを受けるまでの流れ

①電話でお申し込み②開通日決定③開通④専用機器接続、パソコンの設定

○申込み先 NTT西日本フレッツ受付センター(午前9時～午後9時、土・日・祝日も受け付けます)

☎0120・116116

あなたのパソコン一度チェックしてください

企画課情報化推進班
☎内線2339

感染しても気づかないコンピュータウイルスが流行しています。あなたのパソコンは、大丈夫ですか？

現在流行しているボットウイルスは、パソコン内の情報や入力したID、パスワード、クレジットカード番号などを盗み出します。その情報が不正利用され、深刻な被害をもたらす場合があります。

また、ボットウイルスに感染したパソコンは、悪意を持った攻撃者から遠隔操作され、インターネットを通じてほかのパソコンを攻撃します。あなたのパソコンが、犯罪に加担したり、周りのパソコンに攻撃を加えたりするのです。

固定資産税の縦覧帳簿・課税台帳が縦覧・閲覧できます

岡都市計画課固定資産税班
☎内線2550

4月1日(水)から、平成21年度の固定資産税の縦覧帳簿・課税台帳が縦覧・閲覧できます。

○とき(土・日、祝日は除きます)

▼縦覧 4月1日(水)～6月1日(月)

▼閲覧 4月1日(水)以降

○ところ 税務課固定資産税班、または各支所市民協働課、各出張所、度島連絡所(閲覧のみ)

○持参するもの

▼本人 ①本人と確認できるもの(健康保険証、運転免許証など)②印かん(認め印可)

▼代理人 ①委任状②代理人の本人確認ができるもの③印かん(認め印可)

【用語説明】

▼縦覧 「土地(家屋)価格等縦覧帳簿」を見ることが出来ます。自分の土地や家屋の評価額が適正であるかをほかの土地や家屋と比較できます。

▼閲覧 「固定資産課税台帳」を見ることが出来ます。自分の土地や家屋、償却資産の内容・評価額などを確認できます。借地・借家人も閲覧対象となりますが、閲覧できるのは賃貸借関係にある土地・家屋に限ります。

※固定資産税の第1期の納期限は、平成21年度が評価替えの年度に当たるため、6月1日(月)となっています。

あなたの個人情報を守るため、被害を拡大させないためにも、ウイルスチェックと感染対策をしましょう。

○ボットウイルスの駆除・対策手順

サイバークリーンセンターのホームページに記載されているチェック手順に従い、一度チェックしてください。

▼URL <http://botccc.jp/>

▼主な手順 ①Windows Updateを行う。

②ブラウザの一時ファイルを削除する。

③駆除ツールをダウンロードして、実行する。

下水道排水設備工事責任技術者免許をお持ちのみなさんへ

岡都市計画課都市計画班
☎内線2291

責任技術者の登録期間は5年間で、現在の免許の有効期限は、平成22年3月31日までです。更新を希望する人は、講習会を新たに受講する必要があります。受講しない場合は、登録が抹消されます。免許をお持ちのみなさんには、4月上旬に日本下水道協会長崎支部から受講案内が送付されますので、都市計画課都市計画班までお申し込みください。

○受付期間 4月20日(月)～5月1日(金)

『第2回更新講習会』

○とき 7月23日(木)、24日(金)、

27日(月)の予定

○ところ アルカス佐世保(佐世保市)

○受講料 5000円

お願い

REQUEST

水道局からのお願い

岡水道局総務班
☎22・3838

『水道の開始・休止などの

届け出はお早めに!』

今からの季節は、転勤や進学などに伴う異動が多くなります。水道の「開始」、「休止」、「死亡による名義変更」などの届け出は、お早めにご連絡ください。「開始」の届け出は、2日前までにお願います。また、「休止」の届け出がないと基本料金がかりますので必ず届け出ましょう。※電話でも届け出を受け付けています(平日のみ)。

『水道料金のお支払いは、

「口座振替」が便利です。』

口座振替を希望する人は、通帳と届出印を持参し、最寄りの金融機関で備え付けの申込書に必要事項を記入の上、お申し込みください。

『検針にご協力を!』

検針員が毎月水道の使用量の検針にみなさんのお宅に伺っています。メーターボックスの近くに犬をつないだり、荷物や雑草でふさいだりしないよう、ご協力をお願いします。

※土・日・祝日の緊急用件につきましては、平戸浄水場(☎22・2577)、または神の川浄水場(☎53・0544)へご連絡ください。

小さな車、大きな未来。

スズキセニアカーET40

免許不要

カンタン操作

消費税不要

時速2～6km

株式会社スズキ自販長崎
平戸口営業所 平戸市田平萩田免1439-2
☎0950-57-1152

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

文具・事務用品・OAサプライ

新入学、新学期に必要な文具を豊富にご用意しました。ぜひお店までお越し下さい!!

なかしま

20%OFF

期間 3/1～3/8

★現金でのお支払いのみ。
★一部対象外品あり。

小売部 平戸市木引田町430 TEL/FAX 23-8558

お車でご来店の方には、木引田町中央駐車場の30分無料駐車券を差し上げます。

披露宴・歓送迎会・法事・各種会合にご利用下さい。

HIRADO KAIYO HOTEL

平戸海上ホテル

〒859-5102 長崎県平戸市大久保町2231-3

ご予約・お問合せ TEL/0950-22-3800 <http://hiradokaijyohotel.co.jp>

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

【平戸地区】			【大島地区】			【生月地区】			【田平地区】			【平戸地区】		
赤ちゃん	保護者	行政区	赤ちゃん	保護者	行政区	赤ちゃん	保護者	行政区	赤ちゃん	保護者	行政区	赤ちゃん	保護者	行政区
松尾 一信	和幸	上大垣	松尾 一信	和幸	上大垣	松尾 一信	和幸	上大垣	松尾 一信	和幸	上大垣	松尾 一信	和幸	上大垣
永田 栄二	栄二	獅子第2	永田 栄二	栄二	獅子第2	永田 栄二	栄二	獅子第2	永田 栄二	栄二	獅子第2	永田 栄二	栄二	獅子第2
田中 義博	義博	船越	田中 義博	義博	船越	田中 義博	義博	船越	田中 義博	義博	船越	田中 義博	義博	船越
小崎 喜弘	喜弘	志々伎浦	小崎 喜弘	喜弘	志々伎浦	小崎 喜弘	喜弘	志々伎浦	小崎 喜弘	喜弘	志々伎浦	小崎 喜弘	喜弘	志々伎浦
前川 花音	花音	上大垣	前川 花音	花音	上大垣	前川 花音	花音	上大垣	前川 花音	花音	上大垣	前川 花音	花音	上大垣
前田 瑠衣	瑠衣	亀岡	前田 瑠衣	瑠衣	亀岡	前田 瑠衣	瑠衣	亀岡	前田 瑠衣	瑠衣	亀岡	前田 瑠衣	瑠衣	亀岡
下川 華凜	華凜	梅崎	下川 華凜	華凜	梅崎	下川 華凜	華凜	梅崎	下川 華凜	華凜	梅崎	下川 華凜	華凜	梅崎
小野 ゆめか	祐志	上大垣	小野 ゆめか	祐志	上大垣	小野 ゆめか	祐志	上大垣	小野 ゆめか	祐志	上大垣	小野 ゆめか	祐志	上大垣
清水 啓市	啓市	浦南	清水 啓市	啓市	浦南	清水 啓市	啓市	浦南	清水 啓市	啓市	浦南	清水 啓市	啓市	浦南
豊屋 康四郎	尊徳	浦南	豊屋 康四郎	尊徳	浦南	豊屋 康四郎	尊徳	浦南	豊屋 康四郎	尊徳	浦南	豊屋 康四郎	尊徳	浦南
須藤 咲希	進二	上里	須藤 咲希	進二	上里	須藤 咲希	進二	上里	須藤 咲希	進二	上里	須藤 咲希	進二	上里
宮木 真結花	嘉久	釜田	宮木 真結花	嘉久	釜田	宮木 真結花	嘉久	釜田	宮木 真結花	嘉久	釜田	宮木 真結花	嘉久	釜田
納屋 佳央	貴樹	日の浦	納屋 佳央	貴樹	日の浦	納屋 佳央	貴樹	日の浦	納屋 佳央	貴樹	日の浦	納屋 佳央	貴樹	日の浦
川島 望愛	貴昭	永田	川島 望愛	貴昭	永田	川島 望愛	貴昭	永田	川島 望愛	貴昭	永田	川島 望愛	貴昭	永田
南 音羽	典秀	永久保	南 音羽	典秀	永久保	南 音羽	典秀	永久保	南 音羽	典秀	永久保	南 音羽	典秀	永久保
山口 聖七	正義	大根坂	山口 聖七	正義	大根坂	山口 聖七	正義	大根坂	山口 聖七	正義	大根坂	山口 聖七	正義	大根坂
小野 豊子	61歳	12/28	職人町	小野 豊子	61歳	12/28	職人町	小野 豊子	61歳	12/28	職人町	小野 豊子	61歳	12/28

【田平地区】			【生月地区】			【大島地区】			【平戸地区】			【大島地区】		
山口 矩子	74歳	1/14	薄香越	山口 矩子	74歳	1/14	薄香越	山口 矩子	74歳	1/14	薄香越	山口 矩子	74歳	1/14
田村 エヨ	87歳	1/15	曲り	田村 エヨ	87歳	1/15	曲り	田村 エヨ	87歳	1/15	曲り	田村 エヨ	87歳	1/15
庄司 義雄	81歳	1/16	明の川内	庄司 義雄	81歳	1/16	明の川内	庄司 義雄	81歳	1/16	明の川内	庄司 義雄	81歳	1/16
松浦 弘	66歳	1/16	亀岡	松浦 弘	66歳	1/16	亀岡	松浦 弘	66歳	1/16	亀岡	松浦 弘	66歳	1/16
末永 春男	87歳	1/18	野子	末永 春男	87歳	1/18	野子	末永 春男	87歳	1/18	野子	末永 春男	87歳	1/18
橋本 正行	64歳	1/19	大川原	橋本 正行	64歳	1/19	大川原	橋本 正行	64歳	1/19	大川原	橋本 正行	64歳	1/19
大石 健二	87歳	1/20	上中津良	大石 健二	87歳	1/20	上中津良	大石 健二	87歳	1/20	上中津良	大石 健二	87歳	1/20
中瀬 佐吉	87歳	1/21	度島中部	中瀬 佐吉	87歳	1/21	度島中部	中瀬 佐吉	87歳	1/21	度島中部	中瀬 佐吉	87歳	1/21
本山 加	61歳	1/27	坊方	本山 加	61歳	1/27	坊方	本山 加	61歳	1/27	坊方	本山 加	61歳	1/27
松浦 タエ	91歳	1/29	明の川内	松浦 タエ	91歳	1/29	明の川内	松浦 タエ	91歳	1/29	明の川内	松浦 タエ	91歳	1/29
作本 キミ	84歳	1/31	水垂	作本 キミ	84歳	1/31	水垂	作本 キミ	84歳	1/31	水垂	作本 キミ	84歳	1/31
森永 律子	79歳	2/8	亀岡	森永 律子	79歳	2/8	亀岡	森永 律子	79歳	2/8	亀岡	森永 律子	79歳	2/8
山本 アヤ	89歳	2/9	敷佐	山本 アヤ	89歳	2/9	敷佐	山本 アヤ	89歳	2/9	敷佐	山本 アヤ	89歳	2/9
西村 勝美	82歳	2/9	崎方町	西村 勝美	82歳	2/9	崎方町	西村 勝美	82歳	2/9	崎方町	西村 勝美	82歳	2/9
岡江 ヤイ	95歳	2/7	向月	岡江 ヤイ	95歳	2/7	向月	岡江 ヤイ	95歳	2/7	向月	岡江 ヤイ	95歳	2/7
藤谷 馨	80歳	2/7	清水川	藤谷 馨	80歳	2/7	清水川	藤谷 馨	80歳	2/7	清水川	藤谷 馨	80歳	2/7
針尾 キクエ	82歳	2/10	堤	針尾 キクエ	82歳	2/10	堤	針尾 キクエ	82歳	2/10	堤	針尾 キクエ	82歳	2/10
早下 ハツ	93歳	2/11	早福	早下 ハツ	93歳	2/11	早福	早下 ハツ	93歳	2/11	早福	早下 ハツ	93歳	2/11
林 正博	40歳	2/13	薄香浦	林 正博	40歳	2/13	薄香浦	林 正博	40歳	2/13	薄香浦	林 正博	40歳	2/13
吉山 岩吉	82歳	1/19	館浦屋敷	吉山 岩吉	82歳	1/19	館浦屋敷	吉山 岩吉	82歳	1/19	館浦屋敷	吉山 岩吉	82歳	1/19
福川 勇	69歳	2/2	山田	福川 勇	69歳	2/2	山田	福川 勇	69歳	2/2	山田	福川 勇	69歳	2/2
小倉 トヨ子	81歳	2/12	館浦潮見	小倉 トヨ子	81歳	2/12	館浦潮見	小倉 トヨ子	81歳	2/12	館浦潮見	小倉 トヨ子	81歳	2/12
明賀 直継	54歳	2/13	山田	明賀 直継	54歳	2/13	山田	明賀 直継	54歳	2/13	山田	明賀 直継	54歳	2/13
前田 満江	79歳	1/22	下里	前田 満江	79歳	1/22	下里	前田 満江	79歳	1/22	下里	前田 満江	79歳	1/22
丸田 チエ子	93歳	1/28	田代	丸田 チエ子	93歳	1/28	田代	丸田 チエ子	93歳	1/28	田代	丸田 チエ子	93歳	1/28
村川 千恵	47歳	1/28	宝亀第4	村川 千恵	47歳	1/28	宝亀第4	村川 千恵	47歳	1/28	宝亀第4	村川 千恵	47歳	1/28
稲澤 房枝	77歳	1/31	大崎	稲澤 房枝	77歳	1/31	大崎	稲澤 房枝	77歳	1/31	大崎	稲澤 房枝	77歳	1/31

■ 1月末までの火災救急件数			■ 善意のともしび		
火災	0件	(4件)	篤志および香典返して、次の方々から	ご寄付がありました(敬称略)。	
救急	160件	(130件)	ひらどふれあい福祉基金へ	○岩の上町 西高野山最教寺奥の院	
				寒修行詠歌団 代表 邊見 光真	
				(寒修行における浄財)	
			永田記念図書館へ	○大石脇町 浦 友太郎(亡母 奈美子)	
			■「やらんば!平戸」応援寄附金	○横浜市 牟田部広之 10,000円	
			平成21年2月10日現在	36件 総額 1,424,000円	
			(重傷)4名(軽傷)0名	(敬称略)	
			()内は昨年同期		

戒名彫刻・クリーニレグ
改修・移設・合祀

創業70年 お墓のことなら何でもご相談下さい

墓石 設計 製作 施工
記念碑

松永石碑店

生月町山田免2331 0950-53-2816

“髪やお肌の悩みをぶっとばせ”

とっても気持ちいい! 水パーマ 水カラー 水エステ

※当店で、髪や心身・地球までもきれいにする
ビーワンシステムで行っています。
是非一度ご体感下さい。感動をお約束します。
美☆健康☆環境浄化 ビジネス

美容室 BEGIN

初来店の方30%off 予約制 平戸店 ☎22-5630 生月店 ☎53-0034

お顔のエステ無料体験会 3月1日(日)・2日(月)午後1時より(要予約)
会場:平戸海上ホテル 会場:平戸店

佐世保・県北タウン情報誌「コミコミプレス」

COMICOM PRESS

総合印刷 企画 デザイン 広告

KENHOKU PRINT DESIGN & PRINTING

〒859-5152 長崎県平戸市鏡川町1308
TEL 0950-22-3878
FAX 0950-26-0045
kenhoku@minos.ocn.ne.jp

SoftBank

ソフトバンク佐々 (マックスバリュ佐々店前)
北松浦郡佐々町本田原免107-1
TEL 0120-41-1597
営業時間:AM10:00~PM7:00(年中無休)

MR佐々駅 マックスバリュ 至平戸
至相浦 P ソフトバンク佐々 佐々中学校 国道204号 至佐世保

「ふるさとウォーク」の参加者を募集します

☎23・3940

かけはしの会では、障害者と市民のみなさんの相互交流の場として、次のとおり「ふるさとウォーク」を開催します。

○とき 3月8日(日) 午前9時~正午

※雨天時は、3月15日(日)となります。

○ところ 平戸港交流広場集合

○対象者 障害者、持病を持っている人、またその支援者、介助ボランティア

○参加費 600円(弁当代・保険料・入館料込み)

○募集人数 40人程度

○コース 平戸港交流広場から松浦史料博物館を経由して聖フランシスコ・ザビエル記念教会までを散策します。

※専門ガイドが講師として参加します。

○申込方法 電話でかけはしの会事務局(浦部)までお申し込みください。

紙は、保険福祉課長寿福祉班にも備えて付けています。

『ふれあい将棋大会』

○とき 5月17日(日)

○ところ 小浜老人福祉センター(雲仙市)

○参加資格 県内在住のアマチュア愛好者(年齢制限なし)

○参加料 1000円(弁当代含む)

『囲碁交流大会』

○とき 5月23日(土)

○ところ 県勤労福祉会館(長崎市)

○参加資格 県内在住の60歳以上および15歳以下のアマチュア愛好者

○参加料 1000円(弁当代含む)

『生きがい作品展』

○とき 5月28日(木)~31日(日)

○ところ 県美術館(長崎市)

○参加資格 県内在住の60歳以上のアマチュア

○出展料 無料

※作品の搬入・搬出に要する経費は、出品者の負担となります。

「職場対抗のど自慢大会」予選会の出場者を募集します

☎22・3131

4月3日(金)、亀岡公園特設ステージで「職場対抗のど自慢大会」を開催します。今年大会は、平戸商工会議所青年部設立30周年を記念して、過去の優勝チームと予選会を勝ち抜いたチームによるグラウンドチャンピオン大会として行います。

予選会への参加をお待ちしています。

○とき 3月23日(月)~26日(木)

○ところ 市内飲食店(詳細日程は出場者へお知らせします。)

○対象者 市内にある事業所の社員(1チーム2人)

○優勝賞金 10万円

○申込締切日 3月13日(金)

○申込方法 指定の申込用紙で平戸商工会議所へ申し込んでください。

所得税の確定申告は、「e-Tax」を利用してください

☎23・2131

所得税の確定申告は、自宅からのe-Tax(電子申告)を利用すると便利です。

○利用の流れ

①電子証明書を取得(費用がかかります)し、ICカードリーダーライターを購入します。

②開始届出書をe-Taxホームページの開始届出書作成・提出コーナーから平戸税務署に送信します。

③e-Taxの初期登録を行った後、電子申告を行います。

※最高5000円の税額控除が受けられます(平成19年分で控除を受けた人は受けられません)。

※医療費の領収書や源泉徴収票等は提出が省略できます。

※還付申告の場合、還付金の受取りが、3週間程度に短縮されます。



3

広報ひらど
2009
平成21年

March

1	日	
2	月	
3	火	●母子健康相談 (受付 10:00～10:30) サン・ケア平戸 ●BCG・3～4か月児健診 (受付 13:00～13:30) サン・ケア平戸
4	水	
5	木	●母子健康相談 (受付 9:30～10:00) 平戸市役所生月支所 ●1歳6か月児・2歳児歯科健診 (受付 12:30～12:45) サン・ケア平戸
6	金	●パパ・ママ教室 (実施時間 19:00～21:00) 北部公民館
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	●母子健康相談 (受付 13:30～15:30) 田平町福祉保健センター
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	●献血 (受付 9:30～11:30) 田平土木事務所
17	火	●歯科相談(フッ素塗布) (受付 10:00～10:20) 平戸文化センター (受付 14:00～14:20) サンケア平戸
18	水	
19	木	
20	金	●春分の日
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	●乳児健診 (受付 12:15～12:45) 平戸文化センター ●母子健康相談 (受付 14:00～15:30) 大島村離島開発総合センター
25	水	●献血 (受付 9:30～11:00) 平戸警察署 (受付 11:50～13:00) 平戸市森林組合 (受付 14:30～16:00) 県民信用組合平戸支店 ●1歳6か月児健診 (受付 11:45～12:15) 平戸文化センター
26	木	
27	金	
28	土	●平戸市リハビリテーション懇話会 (実施時間 13:20～16:20) たびら活性化施設
29	日	
30	月	
31	火	

4

April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

みんなで取り組もう介護予防活動
～いきいき白岳クラブが県知事表彰を受賞～

2月1日、長崎大学で、「長崎県介護予防推進フォーラム県民大会」が開催され、田助在地区の「いきいき白岳クラブ」(代表 磯本博英さん、会員38人)が、「介護予防推進功労知事表彰」を受賞されました。この大会は、『県民の県民による県民のための「介護予防」』をテーマに、県民が取り組む健康づくり・仲間と取り組む介護予防により高齢になっても住みやすい地域づくりを共に考えることを目的として、長崎県・長崎県介護予防市町支援委員会・長崎県リハビリテーション支援センターが開いたものです。

同クラブは、平成13年に会を立ち上げてから、市の研修を受けた「介護予防リーダー」による定期的な介護予防体操やグランドゴルフ、ウォーキングなどの健康増進活動と、研修旅行などの教養の向上活動、奉仕作業や慰問などのボランティア活動に積極的に取り組まれています。

また、昔遊び教室や門松・しめ縄づくり、鬼洋蝶づくりなどの世代間交流活動を活発に実施し、高齢者の生きがいづくりと安心・安全な地域づくりに貢献されていることが表彰に値すると認められたものです。

いきいき白岳クラブのみなさん、
受賞おめでとうございます。



市長に受賞報告



介護予防教室での体操

”私たちの健康は、私たちの手で”をスローガンに活動している
食生活改善推進員(ヘルスマイト)

平戸市食生活改善推進員は、地域でのふれあいを深めながら食を通じて健康づくりのお手伝いをしているボランティア団体です。食生活改善推進員は、料理を通じて「料理の大切」さを伝えるだけでなく、さまざまな活動を通して「健康づくり」を支援しています。平戸市食生活改善推進員では、老人会や学校など各種団体からのご要望に応じて下記のとおり各種料理教室を開催しています。市民のみなさんの健康づくりのためにも、ぜひご利用ください。

◇具体的にはどんなことをしているの？

- メタボリックシンドローム予防料理教室・・・バランスのよい食事がどれくらいかを、体験する料理教室です。また、理想的な味付けにしますので、試食の際に、ご家庭の味付けと比べてみてください。
- こども料理教室・・・子どもたちが、食材を調理することによって、料理になっていく過程を体験できます。
- 親子料理教室・・・親子で楽しみながら料理ができる教室です。
- 高齢者いきいき料理教室・・・高齢者が不足しがちな栄養素を手軽にとる料理を一緒に作ります。
- 男性料理教室・・・包丁を持ったことがない男性でも安心して参加できる料理教室です。
- 郷土料理教室・・・押し寿司・煮しめ・黒味あえなど、家庭で作る機会が少なくなった郷土料理を一緒につくります。



◇開催内容は？

- 開催時間：おおむね午前10時～午後8時までの間で3時間以内。
土・日曜の休日も行っています。
- 費用：食材費、施設使用料の一部負担(100～300円程度：献立内容で変動あり)。
- 持参するもの：米1合・エプロン・三角巾

◇参加者の感想

- ・エプロンは着たことがなかったけど、料理をしてみると楽しい。教室で習った料理は、家に帰ってから復習しています(男性)
- ・試食をしてみて、家庭の味付けが濃かったことに気付いた。家族のためにも毎日の食生活を見直したい(女性)など

◇申込方法

下記の連絡先に電話でお申し込みください。担当地区のヘルスマイトを紹介しますので、日程など詳細事項を調整していただき開催となります。

☎お問い合わせ先

サン・ケア平戸(平戸市保健センター)	☎28-1000
生月支所市民協働課福祉保健班	☎53-2111
田平支所市民協働課福祉保健班	☎57-0977
大島支所市民協働課福祉保健班	☎55-2511

3

広報ひらど
2009
平成21年

March

	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
4 April				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3 ●平戸温泉城下雛まつり (～4月3日)(平戸地区市街地商店街一帯・松浦史料博物館) 10:00～	4	5	6	7
8	9	10	11	12 ●阿奈田浄水場起工式 (大川原町) 9:30～10:30	13	14 ●第15回教育長杯中学校 新人駅伝大会 (久吹ダム周回コース) 9:00～14:00 ●江戸参府ビッグウォーク2009 (平戸港交流広場～道の駅昆虫の里たびら) 9:00～
15	16 ●平戸幼稚園卒園式 10:00～	17 ●市内中学校卒業式・度島・野子小学校卒業式	18 ●市内小学校卒業式(度島・野子を除く)	19 ●年金相談(館浦出張所) 10:00～15:00 ●平戸さくらまつり (～4月11日) (亀岡公園境内)	20 ●春分の日	21
22	23	24 ●平成20年度修了式(平戸幼稚園・市内各小・中学校)	25	26	27	28
29 ●納税相談休日窓口 (税務課) 9:00～17:00	30	31				

3月健康テレホンプログラム	
月	若者のはしか
火	関節リウマチの早期診断と治療 ー不治の病から治る時代の幕開けー
水	小学校入学を前にしての注意点
木	春に多い目の病気ーアレルギー性結膜炎ー
金	境界性人格障害
土日	くり返す膀胱炎
佐世保☎0956-23-4300 *祝日は前日のテープが流れます。 *午前9時から翌朝午前9時までの24時間、同じ内容のテープが3分間流れます。 *曜日ごとにテーマが決められ(日替わりメニュー)、月ごとに変わります。 *内容は専門の医師・歯科医師が作ります。 長崎県保険医協会 ☎095-825-3829	

休日の当番医			
日・曜日	医療機関名		電話番号
1日(日)	柿添病院	鏡川町	23-2151
8日(日)	北川病院	浦の町	22-2344
15日(日)	青洲会病院	田平町	57-2155
20日(祝・金)	柿添病院	鏡川町	23-2151
22日(日)	北川病院	浦の町	22-2344
29日(日)	谷川病院	田平町	57-0045
各種相談のお知らせ			
◎年金相談			
3月19日(木) 10:00～15:00 館浦出張所			
◎納税相談休日窓口			
3月29日(日) 9:00～17:00 市役所税務課			

今月の祝	
○市税の納期 3月2日(月)	
固定資産税	4期
国民健康保険税	9期
介護保険料	9期
後期高齢者医療保険料	8期
『支えあおう 市税はみんなの未来のために』	
献血にご協力を	
3月16日(月)	
田平土木事務所	9:30～11:30
3月25日(水)	
平戸警察署	9:30～11:00
平戸市森林組合	11:50～13:00
長崎県民信用組合平戸支店	14:30～16:00
『ありがとうの声聞こえるよ献血』	